

愛知県美術館年報

目次

収集・保存・管理

1	収集	4
	収集方針	
	収集委員会	
	新収蔵品と収集の状況	
	収集作品一覧 購入／受贈／管理換え	
	寄託	
	美術品等取得基金について	
2	保存	11
	保存事業の実施状況	
3	管理	13
	所蔵作品の管理状況	
	作品の管理	
	作品の貸出	
	貸出の概要	

展示・教育普及

1	所蔵作品展	14
	展示の概要	
	所蔵作品展の開催状況と入場者数	
	所蔵作品展 展示作品リスト	
	テーマ展	
	移動美術館	
	サテライト展示	
	愛知県陶磁資料館における長期展示	
	その他	
2	企画展	30
	企画展の入場者数	
	企画展の開催状況	
3	教育普及	46
	出版・発行	
	講演会・シンポジウム・ワークショップ等、関連イベント	
	各種プログラムなど	
	各種教育プログラム	
	幼児、児童、生徒を対象とした鑑賞教育の実施	
	視覚に障がいのある人を対象とした鑑賞会	
	各種団体鑑賞への対応	
	博物館実習生の受け入れ	
	美術館研修生の受け入れ指導	
	学生アシスタントの受け入れ	
	美術館友の会との協力	
	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業・ ミュージアム活性化支援事業	

調査研究

調査・研究	55
-------	----

ギャラリー（貸館）

利用状況	58
利用団体一覧	

その他	61
東日本大震災の救援活動	

組織・職員構成	62
---------	----

関係委員会名簿	63
---------	----

1 収集

収集方針

- ・20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・現在を刻印するにふさわしい作品
- ・愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・上述の作品・作家を理解する上で役立つ資料

収集委員会（委員会名簿は63頁）

開催日：第1回 平成23年10月27日

新収蔵品と収集の状況

- ・上記の収集方針にそって6点の作品を購入し、37点の作品の寄贈を受け、2点の作品を管理換えし合計45点の作品を新たに収集した。

美術品等収集状況

種 別	購 入		寄 贈	管理換え
	点 数	金 額(円)	点 数	点 数
日 本 画	0	0	0	1
洋 画	4	245,145,000	9	1
立 体	0	0	0	0
版 画	1	1,165,890	9	1
水 彩 ・ 素 描	0	0	19	0
写 真	0	0	0	0
インスタレーション	0	0	0	0
映 像	1	682,500	0	0
工 芸	0	0	0	0
書	0	0	0	0
資 料	0	0	0	0
計	6	税込 246,993,390	37	2

所蔵作品全体の状況（平成24年3月末現在）

	点 数
所蔵作品	2,946点
藤井達吉 コレクション	1,460点
木村定三 コレクション	1,460点
合 計	7,692点

新収蔵作品

平成11（1999）年度に基金による購入が原則凍結されて以降、収集方針に則した中心的な作品の購入は難しくなっていたが、平成14（2002）年度に限定的ながらも基金執行の凍結解除を受けて以降は現代の美術を中心にコレクション充実に努め、平成16（2004）年度から年間購入枠の拡大を働きかけてきた結果、平成19（2007）年度から平成21（2009）年度の3ヶ年で陶磁資料館と合わせ1億2千万円（内、美術館9千万円）の基金執行が可能となり、平成22年度からの3ヶ年についても同様となっている。

さらに平成23年度は、カニエプロバン株式会社からの2億円の寄附金により、フェルナン・レジェの作品を購入した。

基金によって購入した作品は5点で、梅原龍三郎の洋画ほか、現代作家の油彩やビデオ作品、カンディンスキーの版画など多岐にわたる。また、作家やその遺族、収集家などから9作家37点の寄贈を受けた。

収集作品一覧

平成23（2011）年度 収集作品一覧

1 洋画

フェルナン・レジェ

緑の背景のコンポジション
(葉のあるコンポジション)

1931年
油彩、画布
92.0×73.0cm

Fernand LÉGER
Composition sur fond vert
(Composition a la feuille)

1931
oil on canvas
92.0×73.0cm
FO.2011.00001.000
蟹江プロバン株式会社からの寄付金による購入



2 洋画

野崎華年

武具

1895年
油彩、紙
28×87.5cm

NOZAKI Kanen
Arms
1895
oil on paper
28×87.5cm
JO.2011.00001.000



3 洋画

梅原龍三郎

北京禁城

1939年
油彩・岩絵具、紙
60.6×48.4cm

UMEHARA Ryuzaburo
Forbidden City, Beijing
1939
oil and color on paper
60.6×48.4cm
JO.2011.00002.000

4 洋画

吉本作次

中断された眠り II

1985年
ハウスペイント・クレヨン・土・
コラージュ、画布
224×287cm

YOSHIMOTO Sakuji
Interrupted Sleep II
1985
house paint, crayon, soil,
and collage on canvas
224×287cm
JO.2011.00003.000

5 洋画

森田浩彰

Clockwise

2006-08年
映像
24時間

MORITA Hiroaki
Clockwise
2006-2008
video
24 hours
JV.2011.00001.000

6 版画

ヴァシリー・カンディンスキー

『クセログラフィー』

1909年
ヘリオグラビア、紙
31.5×32cm（5点組）

Wassily KANDINSKY
XYLOGRAPHIES
1909
heliograph on paper
31.5×32cm (suite of 5 prints)
FP.2011.00001.000

寄贈作品（37点）

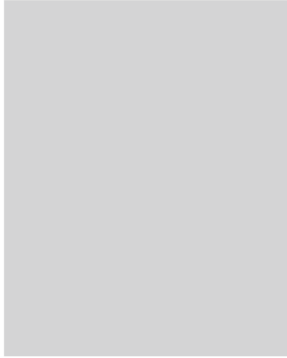
1 洋画

安藤幹衛

逃走

1958年
油彩、画布
161.2×129.3cm

ANDO Mikie
Escape
1958
oil on canvas
161.2×129.3cm
JO.2011.00004.000
安藤洋氏寄贈



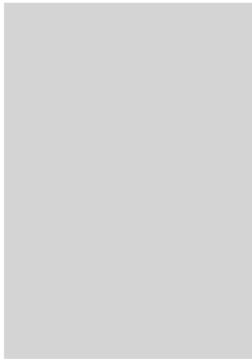
2 洋画

安藤幹衛

白紙

1959年
油彩、画布
161.5×112.5cm

ANDO Mikie
Blank Paper
1959
oil on canvas
161.5×112.5cm
JO.2011.00005.000
安藤洋氏寄贈



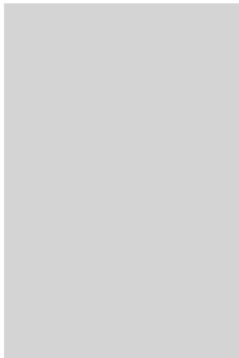
3 洋画

麻生三郎

オヤコ

1960年
油彩、画布
145.5×112cm

ASO Saburo
Parent and Children
1960
oil on canvas
145.5×112cm
JO.2011.00006.000
麻生美智子氏寄贈



4 洋画

加納光於

たてがみ 北東風－IV

1985年
油彩、画布
80.0×100.0cm

KANO Mitsuo
Crest - Northeast Wind- IV
1985
oil on canvas
80.0×100.0cm
JO.2011.00007.000
服部眞稔氏寄贈



5 洋画

松本英一郎

さくら・うし 93-9

1993年
油彩、画布
194.3×259.3cm

MATSUMOTO Eiichiro
Cherry Blossom - Cow 93 - 9
1993
oil on canvas
194.3×259.3cm
JO.2011.00008.000
松本泰子氏寄贈



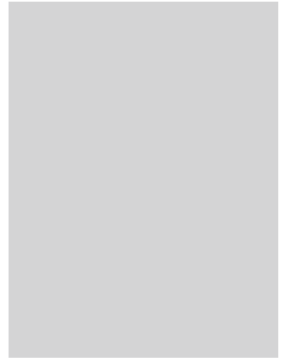
6 洋画

斎藤吾郎

描けば描くほど

2002年
油彩、画布
259.1×193.9cm

SAITO Goro
The More I Paint, The More...
2002
oil on canvas
259.1×193.9cm
JO.2011.00009.000
味岡源太郎氏寄贈



7 洋画

森北伸

a colony

2004年
油彩・グラファイト、画布
182.0×228.0cm

MORIKITA Shin
a colony
2004
oil and graphite on canvas
182.0×228.0cm
JO.2011.00010.000
土崎正彦氏寄贈



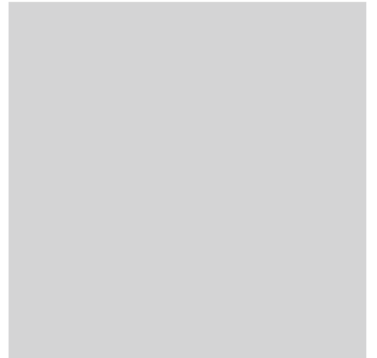
8 洋画

藤城凡子

chapter 5 そして月と地球

2006年
アクリル、画布
145.5×145.5cm

FUJISHIRO Namiko
Chapter 5 Then the Moon and
the Earth
2006
acryl on canvas
145.5×145.5cm
JO.2011.00011.000
土崎正彦氏寄贈



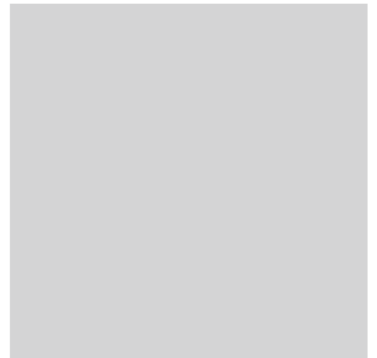
9 洋画

藤城凡子

chapter4 still

2006年
アクリル、画布
80.3×80.3cm

FUJISHIRO Namiko
chapter4 still
2006
acryl on canvas
80.3×80.3cm
JO.2011.00012.000
土崎正彦氏寄贈



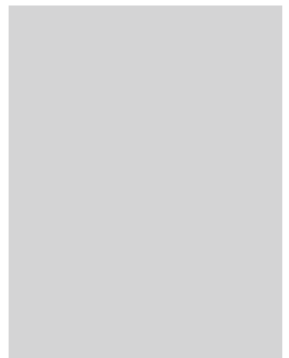
10 素描

麻生三郎

人

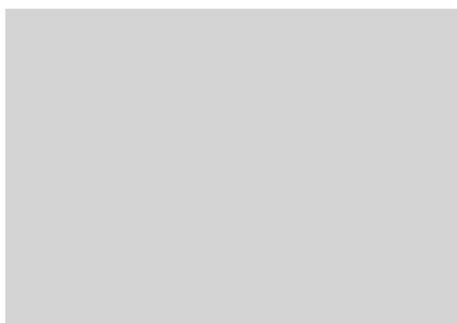
1935年
オイルパステル・水彩、紙
35.9×28.3cm

ASO Saburo
Figure
1935
watercolor and oilpastel on paper
35.9×28.3cm
JD.2011.00001.000
麻生美智子氏寄贈



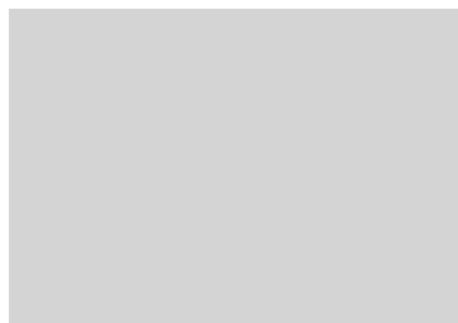
11 素描
麻生三郎
ノートルダム
1938年
コンテ、紙
26.0×37.1cm

ASO Saburo
Notre-Dame
1938
Conte on paper
26.0×37.1cm
JD.2011.00002.000
麻生美智子氏寄贈



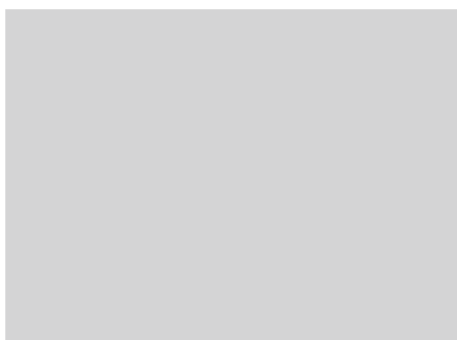
16 素描
麻生三郎
月島
1959年
インク・色鉛筆、紙
38.0×54.1cm

ASO Saburo
Tsukishima
1959
ink and color pencil on
paper
38.0×54.1cm
JD.2011.00007.000
麻生美智子氏寄贈



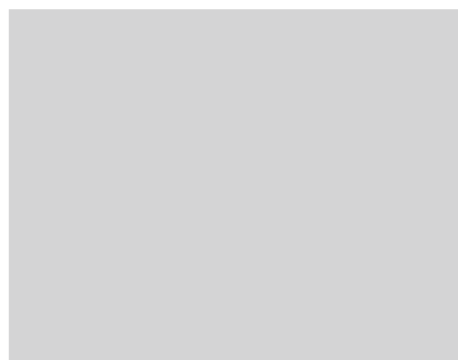
12 素描
麻生三郎
マルセイユ
1938年
鉛筆、紙（台紙に貼付）
27.7×37.2cm

ASO Saburo
Marseilles
1938
pencil on paper
(mounted on paper)
27.7×37.2cm
JD.2011.00003.000
麻生美智子氏寄贈



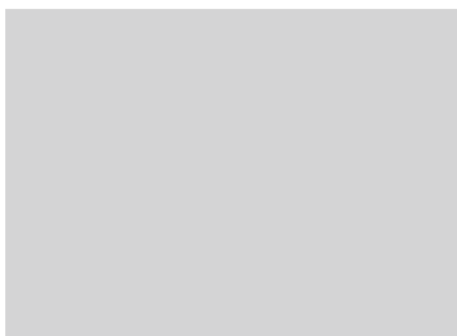
17 素描
麻生三郎
寝ている男
1963年
鉛筆、紙
29.7×37.6cm

ASO Saburo
Lying Man
1963
pencil on paper
29.7×37.6cm
JD.2011.00008.000
麻生美智子氏寄贈



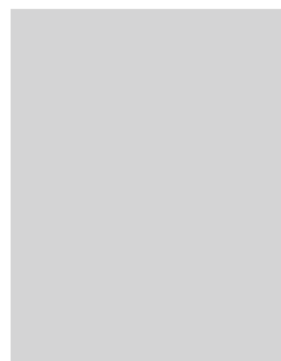
13 素描
麻生三郎
丘の家
1951年
インク、紙
19.0×26.1cm

ASO Saburo
A House on a Hill
1951
ink on paper
19.0×26.1cm
JD.2011.00004.000
麻生美智子氏寄贈



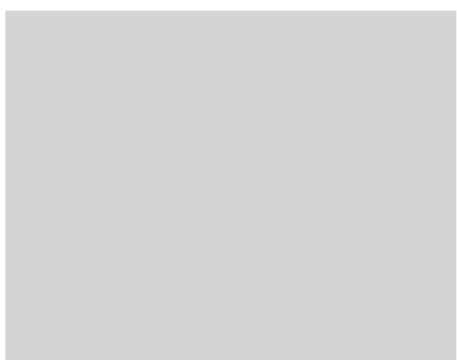
18 素描
麻生三郎
男の像
1963年
色鉛筆・鉛筆、紙
36.9×29.4cm

ASO Saburo
Male Figure
1963
color pencil and pencil on paper
36.9×29.4cm
JD.2011.00009.000
麻生美智子氏寄贈



14 素描
麻生三郎
海（明石の海）
1955年
インク、紙
29.9×35.5cm

ASO Saburo
Sea (Sea of Akashi)
1955
ink on paper
29.9×35.5cm
JD.2011.00005.000
麻生美智子氏寄贈



19 素描
麻生三郎
法起寺附近
（蓬萊屋カレンダーのための素描）
1969年
鉛筆・パステル、紙
24.3×31.8cm

ASO Saburo
Hokki-ji and its environs (Sketch for
calendar of Horaiya)
1969
pencil and pastel on paper
24.3×31.8cm
JD.2011.00010.000
麻生美智子氏寄贈



15 素描
麻生三郎
八丁堀
1956年
インク、紙
29.5×37.5cm

ASO Saburo
Hachobori
1956
ink on paper
29.5×37.5cm
JD.2011.00006.000
麻生美智子氏寄贈



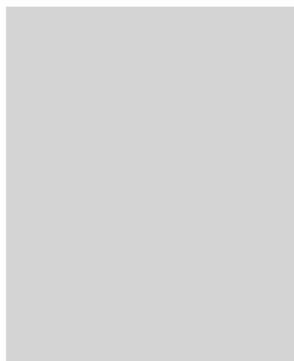
20 素描
麻生三郎
（人）
1978年
鉛筆・水彩、紙
34.8×51.8cm

ASO Saburo
(Figure)
1978
pencil and watercolor on paper
34.8×51.8cm
JD.2011.00011.000
麻生美智子氏寄贈



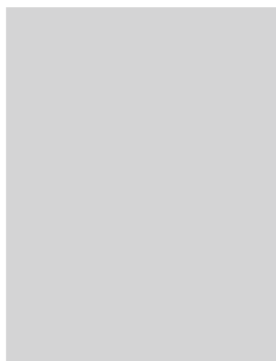
21 素描
麻生三郎
(坐った人)
1982年
鉛筆・パステル、紙
55.0×37.5cm

ASO Saburo
(Sitting Figure)
1982
pencil and pastel on paper
55.0×37.5cm
JD.2011.00012.000
麻生美智子氏寄贈



22 素描
麻生三郎
月 (蓬莱屋カレンダーのための素描)
1982年
鉛筆・パステル・紙
22.0×16.2cm

ASO Saburo
Moon (Sketch for calendar of Horaiya)
1982
pencil and pastel on paper
22.0×16.2cm
JD.2011.00013.000
麻生美智子氏寄贈



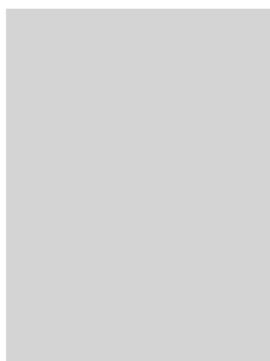
23 素描
麻生三郎
(空)
1985年
鉛筆・インク、パステル・紙
18.4×26.1cm

ASO Saburo
(Sky)
1985
pencil, ink and pastel on paper
18.4×26.1cm
JD.2011.00014.000
麻生美智子氏寄贈



24 素描
麻生三郎
(空)
1985年
鉛筆・インク、紙
26.1×18.5cm

ASO Saburo
(Sky)
1985
pencil and ink on paper
26.1×18.5cm
JD.2011.00015.000
麻生美智子氏寄贈



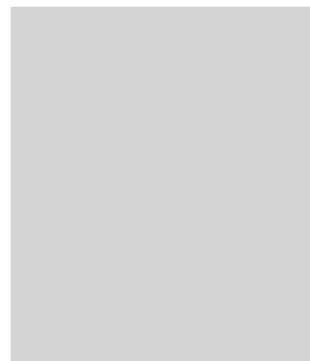
25 素描
麻生三郎
(空)
1990年
鉛筆・パステル、紙
21.7×27.1cm

ASO Saburo
(Sky)
1990
pencil and pastel on paper
21.7×27.1cm
JD.2011.00016.000
麻生美智子氏寄贈



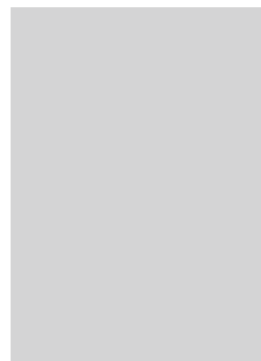
26 素描
麻生三郎
(人)
1990年
鉛筆・水彩、紙
65.0×50.0cm

ASO Saburo
(Figure)
1990
pencil and watercolor on paper
65.0×50.0cm
JD.2011.00017.000
麻生美智子氏寄贈



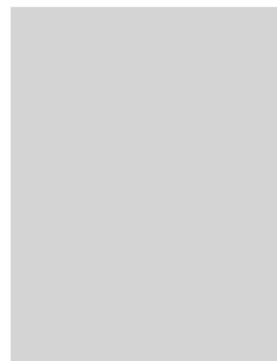
27 素描
麻生三郎
人
1994年
鉛筆、紙
75.1×54.8cm

ASO Saburo
Figure
1994
pencil on paper
75.1×54.8cm
JD.2011.00019.000
麻生美智子氏寄贈



28 素描
麻生三郎
人
1993年
鉛筆、紙
75.1×54.8cm

ASO Saburo
Figure
1993
pencil on paper
75.1×54.8cm
JD.2011.00018.000
麻生美智子氏寄贈



29 版画
ケーテ・コルヴィッツ
死 (版画集『織工の蜂起』第2葉)
1893-97年
リトグラフ、紙
22.4×18.6cm

Käthe KOLLWITZ
Death - sheet 2 of *A Weavers' Rebellion*
1893-97
lithograph on paper
22.4×18.6cm
FP.2011.00002.000
山村博男氏寄贈



30 版画
ケーテ・コルヴィッツ
暴動
1899年
エッチング・アクアチント・筆による腐蝕・ルーレットほか、紙
28.0×30.3cm

Käthe KOLLWITZ
Uprising
1899
etching, aquatint, corrosion by brush, roulette etc. on paper
28.0×30.3cm
FP.2011.00003.000
山村博男氏寄贈



31 版画

ケーテ・コルヴィッツ

踏みにじられた者たち—貧しい家族

1900年
エッチング・アクアチント・ドライポイント
ト・スクレイパー、紙
22.7×19.3cm

Käthe KOLLWITZ
The Downtrodden - Poor Family
1900
etching, aquatint, drypoint and scraper
on paper
22.7×19.3cm
FP.2011.00004.000
山村博男氏寄贈



32 版画

ケーテ・コルヴィッツ

若いカップル

1904年
エッチング、紙
29.2×31.0cm

Käthe KOLLWITZ
Young Couple
1904
etching on paper
29.2×31.0cm
FP.2011.00005.000
山村博男氏寄贈



33 版画

ケーテ・コルヴィッツ

鎌を研ぐ（版画集『農民戦争』第3葉）

1905年
エッチング・ステンシル、紙
28.7×28.7cm

Käthe KOLLWITZ
Whetting the Scythe from *Peasants' War*
1905
etching and stencil on paper
28.7×28.7cm
FP.2011.00006.000
山村博男氏寄贈



34 版画

ケーテ・コルヴィッツ

うつむく女の頭部

1905年
ソフトグラウンド・エッチング、紙
36.4×29.0cm

Käthe KOLLWITZ
Head of a Grieving Woman
1905
soft ground and etching on paper
36.4×29.0cm
FP.2011.00007.000
山村博男氏寄贈



35 版画

ケーテ・コルヴィッツ

子供を腕に抱く母

1910年
エッチング、紙
19.3×12.7cm

Käthe KOLLWITZ
Mother with Child in Her Arms
1910
etching on paper
19.3×12.7cm
FP.2011.00008.000
山村博男氏寄贈



36 版画

畦地梅太郎

白い流れ

1962年
木版、紙
58.0×41.0cm

AZECHI Umetaro
White Stream
1962
woodcut on paper
58.0×41.0cm
JP.2011.00001.000
服部真稔氏寄贈

37 版画

加納光於

PENINSULAR 半島状の！ No.23

1967年
メタルプリント、紙
72.0×54.0cm

KANO Mitsuo
Peninsular! No.23
1967
metal print on paper
72.0×54.0cm
JP.2011.00002.000
服部真稔氏寄贈

管理換え作品（2点）

1 日本画

嶋谷自然

朝暉

1970年
膠彩、紙（紙本着色）
90.6×64.8cm

SHIMAYA Shizen
Morning Sunlight
1970
glue on paper(color on paper)
90.6×64.8cm
JJ.2011.00001.000
愛知県産業労働部労政担当局労働福祉課より移管

2 洋画

真島健三

原始原語

1969年
油彩、画布
91.5×119.0cm

MAJIMA Kenzo
Primitive Language
1969
oil on canvas
91.5×119.0cm
JO.2011.00013.000
愛知県産業労働部労政担当局労働福祉課より移管

寄託

新規寄託品

平成23年度には新たに 1 件 2 点の寄託を受けた。

寄託品の状況（平成24年 3 月末現在）

分 類	点 数
日 本 画	34
洋 画	106
立 体	71
版 画	118
水彩・素描	81
写 真	85
資 料	14
計	33件 509点

美術品等取得基金について

愛知県美術館と愛知県陶磁資料館が、芸術的価値の高い美術品等を機動的、継続的に収集するための財源として昭和63（1988）年 4 月に設置された。基金には、県からの積立金のほかに、美術品等の収集を支援する民間からの寄付金が含まれている。

運用状況（平成24年 3 月末現在）

基金総額		117億1,297万8,016円
運用内訳	美 術 品	99億0,916万0,020円 (1,399点) *
	現 金	18億0,381万7,996円

* 内、美術館所蔵作品は734点

2 保存

保存事業の実施状況

前年度に引き続き木村定三コレクションの調査、保存処置を行ったが、その他の所蔵作品については、今年度も新収蔵品や貸出作品を優先して行った。

○所蔵作品の状態調査と保存処置等

保存処置を外部委託で行ったものは、下記のとおり。

2011（平成23）年度 外部委託による保存処置作品一覧

No.	作家名 時代	作品名 (技法材料)	種別	処置前の状態	処置内容	処置者
1	作者不詳 高麗時代(12世紀)	鉄地金銀象嵌鏡架 * 1	工芸	金属酸化、欠損	酸化防止、錆除去、樹脂含浸	元興寺文化財研究所
* 1 コレクション番号M1027 旧名称「鉄製交椅」						
No.	作家名 時代	作品名 (技法材料)	種別	処置前の状態	処置内容	処置者
2	与謝蕪村 1716(享保元)年－1783(天明3)年	富嶽列松図 (重要文化財) (紙本墨画淡彩)	日本画	折れ、汚損、磨耗	本格修理 (打ち替え)	文化財保存 (補助事業) 2ヵ年事業
3	仙厓義梵 (18世紀後半－19世紀前半)	姫御前図 自画賛 (紙本墨画)	日本画	折れ、汚損	本格修理 (打ち替え)	修美 2ヵ年事業
4	仙厓義梵 (18世紀後半－19世紀前半)	若水図 自画賛 (紙本墨画)	日本画	折れ、汚損	本格修理 (打ち替え)	修美 2ヵ年事業
5	上杉謙信 1530(享禄3)年－1578(天正8)年	上杉謙信書状(織田信長宛) (紙本墨書)	日本画	折れ、汚損、磨耗、破れ	本格修理 (打ち替え)	修美 2ヵ年事業
6	青木蒲堂 1810(文化7)年－1872年(明治5)年	養老山真景図 (絹本墨画淡彩)	日本画	折れ、汚損	本格修理 (打ち替え)	松鶴堂 2ヵ年事業
7	横井也有 1702(元禄5)年－1783(天明3)年	月に友鳥図 自画賛 (紙本墨画)	日本画	折れ、汚損	本格修理 (打ち替え)	松鶴堂 2ヵ年事業
8	白隠慧鶴 1685(貞享2)年－1768(明和5)年	渡唐天神図 (紙本墨画)	日本画	折れ、汚損	本格修理 (打ち替え)	松鶴堂 2ヵ年事業
9	菱川派 17世紀末－18世紀初(元禄－宝永頃)	隅田川舟遊図 (紙本墨画)	日本画	剥離、剥落、折れ	本格修理 (打ち替え)	岡墨光堂 2ヵ年事業
10	義亮 1798(寛政10)年－1865年(慶応元)年	東山図 (絹本墨画淡彩)	日本画	表具の不釣り合い	本格修理 (打ち替え)	岡墨光堂 2ヵ年事業
11	浦上玉堂 1745(延享2)年－1820(文政3)年	雲山模糊図 (紙本墨画淡彩)	日本画	中廻に銅箔の砂子を使用、折れ	表具裂の取替え、折れ伏せ	岡墨光堂 2ヵ年事業
12	渡辺清 1778(安永7)年－1861(文久元)年	玩具尽くし図 (紙本墨画淡彩)	日本画	表装の剥離、絵具剥落、汚損	本格修理 (打ち替え)	松鶴堂
13	村瀬太乙 1803(享和3)－1881(明治14)年	馬上狐図 (紙本墨画)	日本画	折れ、虫損、破れ、汚損	本格修理 (打ち替え)	松鶴堂
14	岡田為恭 1823(文政6)年－1864(元治元)年	拾遺集歌意図自画賛 (紙本墨画)	日本画	表装の剥離、表具部分の剥落	本格修理 (打ち替え)	松鶴堂
15	岡田東虎 1755(宝暦5)年－1822(文政5)年	立美人図「南嶠」・「前台」・「無明」・「祖丈」 (絹本着色)	日本画	カビ害跡、表装の不具合	本格修理 (打ち替え)	松鶴堂

○外部委託による詳細状態調査

2011（平成23）年度 外部に委託した詳細状態調査作品一覧（学術調査を目的とした調査研究を含む）

No.	作家名 時代	作品名 (現在の公開名)	種別	調査項目	目的	依頼先
1	作者不詳 (高麗時代)	鉄地金銀象嵌鏡架	工芸	専門委員会の開催 * 1	* 2	元興寺文化財研究所 (委託研究)

* 1 専門委員会参加者（元興寺文化財研究所、愛知県美術館職員を除く）

久保智康 京都国立博物館 美術史（金工史）

内藤 榮 奈良国立博物館 美術史（金工史）

高妻洋成 奈良文化財研究所 保存科学

西山要一 奈良大学 保存科学

* 2 研究会の目的

1 保存処置の指導

2 製作技法の解明

3 研究報告書の作成（成果物 『木村定三コレクション研究報告書 3 高麗鉄地金銀象嵌鏡架』

○新規額・保存箱製作作品一覧

2011（平成23）年度 新規額・保存箱製作作品一覧

No.	作家名 時代	作品名 (現在の登録名)	種別	製作物	製作者
1	与謝蕪村 1716(享保元)年—1783(天明3)年	富嶽列松図（重要文化財） (紙本墨画淡彩)	日本画	桐太巻添軸桐二重箱、 裂貼り四方帙	尾崎憲雄(ACS佐藤) 文化財保存

○保存環境の整備等

引き続き生物被害対策のために生物調査を行った。友の会サポート事業の協力を得て、作品環境の清浄化に関する諸処の作業を行った。

3 管理

所蔵作品の管理状況

作品の管理

平成20年度からの4ヶ年計画を基に、備品台帳と所蔵作品リスト、作品カードとの照合整理を行い、現品確認作業を実施した。

平成16年度から3ヶ年計画で行ってきた木村定三コレクション調査整理事業および平成18年度から6ヶ年計画で実施している同コレクションの研究保存事業の一環として、目録I及び研究紀要の作成等を行い、同コレクションの公開に努めた。

作品の貸出

国内外の美術館等からの所蔵作品の貸出要請に対して、作品の保存状態が良好で、所蔵作品展の展示計画に支障がないものについて、展覧会の内容やその意義を勘案し、展示施設・設備の状況を確認した上で、所蔵作品貸出要領に則し貸出を行った。

また、このような館外への貸出も所蔵作品公開の機会と位置づけ、各会場での入場者状況を調査した。

さらに、震災復興特別支援企画「ふらんす物語」を島根県立美術館と共催し、まとめて貸出を行った。

貸出の概要（貸出期間 2011年4月1日～2012年3月31日）

貸 出 先		件数	点数	総入場者数（うち小中生）※
国内	美術館・博物館	41件	200点	1,081,042人（41,064人）
	県関係機関	7件	85点	
国外	美術館・博物館	1件	1点	
計		49件	286点	

※データは平成24年5月10日現在。開催中あるいは巡回中の展覧会については含まず。

また、入場者区分・集計範囲は貸出先によって異なるため、小中生数については報告があったものの合計。

1 所蔵作品展

展示の概要

所蔵作品展では20世紀以降の美術の展開やその特質に触れることができる展示を提供すると同時に、来館者の関心の多様化に考慮して、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術傾向や作品群に焦点をあてた特集展示を行っている。2011年度は年間を5期に分けて所蔵作品展を開催。各期にかなり大幅に作品を入れ替え、多種多様な作品の紹介に努めた。

2011年度は、「うつす」をキーワードに構成された全館所蔵作品展「うつし、うつくし」の開催により、当館のコレクションの多様性を紹介した。

また、東日本大震災に対する美術館の思いを込めて「被災地に思いをよせて」を開催し、並行して行われた文化財レスキューの活動と合わせて、文化芸術の存在価値についてメッセージを発信した。

この他、「メイキング・オブ・クマガイ モリカズ」を始め企画性の高い特集展示も多数行った。

2011（平成23）年度 所蔵作品展の開催状況と入場者数

		入場者数	1日平均
第1期	2011年4月29日－6月12日 「被災地に思いをよせて」 「20世紀美術の諸相 絵画の冒険」 「写真 ノスタルジーの系譜」 「特集 野村博」 「木村定三コレクション 小さな旅」	8,473人	(39日間) 218人
	内 訳		
	企画展「麻生三郎展」共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数	8,166人 307人	209人 8人
第2期	2011年7月9日－9月4日 「フランス美術の流れ 19世紀後半から20世紀へ」 「特集 山口勝弘」 「ヨーロッパの絵画 ウィーン分離派からシュルレアリスムまで」 「木村定三コレクション 富岡鉄斎と大田垣蓮月」	42,339人	(50日間) 847人
	内 訳		
	企画展「棟方志功 祈りと旅」共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数	41,585人 754人	832人 15人
第3期	2011年9月16日－10月30日 「木村定三コレクション メイキング・オブ・クマガイ モリカズ」 「その土地の美術 欧米美術と日本の芸術家」 「物語るかたち」 「愛知の美術Ⅰ 日本画の革新」 「戦後の具象絵画」	8,090人	(39日間) 208人
	内 訳		
	企画展「島田章三展」共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数	7,431人 659人	191人 17人
第4期	2011年11月11日－2012年1月22日 「近代日本画の名品」 「20世紀の美術 ポロック以後の絵画を中心に」 テーマ展「水野勝規 ライトスケープ」 「愛知の美術Ⅱ 新しい表現を求めて」 「古山子 小山富士夫」	28,078人	(58日間) 484人
	内 訳		
	企画展「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」共通入場者数 所蔵作品展のみの入場者数	27,220人 858人	469人 15人
第5期	2012年2月3日－3月25日 「うつし、うつくし」 「ふらんす物語、ふたたび」 「愛知の美術Ⅲ からっぽのステージ」 「山本直彰 扉、そして帰還」 「杉本健吉 平清盛と『新・平家物語』」 「須田剋太」	7,202人	(45日間) 160人
2011年度 合 計		94,182人	(231日間) 408人

所蔵作品展 展示作品リスト

■2011年度第 1 期所蔵作品展出品リスト〔2011年 4 月29日－ 6 月12日〕

展示室 4 では、東日本大震災で被災された方々に思いをよせ、「祈りと鎮魂」にかかわる幾つかの作品と、被災した地方にゆかりのある作品を展示した。つづく展示室 5 では絵画表現が変化してゆく様子を日本、欧米の絵画作品を通して紹介し、展示室 6 では記憶と感傷をコンセプトに写真作品を特集した。また、展示室 7 では平成21年度に多数の寄贈を受けた野村博の作品、展示室 8 では木村コレクションの中から旅にまつわる作品をまとめて展覧した。

ラウンジ		
彫刻	ヴィルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913年

前室 1		
彫刻	エルンスト・バルラッハ 母なる大地Ⅱ	1921年

展示室 4 被災地に思いをよせて		
仏具	木村定三コレクション 金銅五跔三昧耶鈴 鎌倉時代中期13世紀	
日本画	村上華岳 散華	1939年頃
日本画	藤井達吉 継色紙風	1964年
版画	棟方志功 華狩頌	1954年
日本画	東山魁夷 雪の山郷	作者寄贈 1991年
彫刻	佐藤忠良 レイ	1980年
素描	佐藤忠良 レイ	1980年
彫刻	舟越保武 LOLA(女の頭部)	寄託作品 1974年
彫刻	舟越保武 シオン	1979年
素描	舟越保武 シオンのためのエスキス	1979年
油彩	熊谷守一 漁村	木村定三コレクション 1954年

展示室 5 20世紀の美術の諸相 絵画の冒険		
油彩	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906年
油彩	アンリ・マティス 待つ	1921-1922年
油彩	ピエール・ボナール にぎやかな風景	1913年頃
油彩	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海 I	1927年
油彩	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士)	トヨタ自動車株式会社からの寄付金により購入 1903年

彫刻	レイモン・デュシャン＝ヴィヨン 恋人たち	1913年
油彩	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
彫刻	ジョルジュ・ミンヌ 聖遺物箱を担ぐ少年	1897年
油彩	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	株式会社東海銀行寄贈 1902年
油彩	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911-13年
油彩	藤田嗣治 青衣の少女	トヨタ自動車株式会社からの寄付金により購入 1925年
油彩	三岸節子 らくがき	1973年
油彩	アントニ・タピエス コンポジション	1977年
油彩	ジャン・デュビュッフ 二人の脱走兵	1953年
油彩	村井正誠 ゴルフジュアンの船	1929年
油彩	斎藤義重 作品	1962年
油彩	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
油彩	難波田龍起 萌	1961年
油彩	中西夏之 M字型ーⅡ	1981年
油彩	瑛九 黄色い花	1957?58年
油彩	アド・ラインハート No.114	1950年
アクリル	フランク・ステラ リヴァー・オブ・ポンズⅣ	1969年
油彩	ジョーゼフ・アルバース 正方形頌	1962年
アクリル	桑山忠明 茶白青	1968年
アクリル	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
アクリル	百瀬寿 Square-NEXⅣ：TwelveStripesE	1987年
アクリル	松本陽子 光は荒野の中に拡散している	1993年

アクリル	松本陽子 光は荒野の中に拡散している	1993年
アクリル	根岸芳郎 1997?11?18	1997年
油彩	辰野登恵子 Untitled95-1	1995年
油彩	猪熊弦一郎 地図の中の日曜日	1979年
彫刻	秋山陽 PhoⅡ	1990年

展示室 6 写真 ノスタルジーの系譜		
写真	ウジェーヌ・アジェ ノートル・ダム、パリ	寄託作品 1923年
写真	ウジェーヌ・アジェ デュプティ・トゥアール通り、パリ	寄託作品 1911年
写真	アンドレ・ケルテス イヴニング・スクエア、パリ	寄託作品 1927年
写真	ブラッサイ 夕方の女性、ブルバール	寄託作品 1932年
写真	ビル・ブランツ ピカデリー・サーカス	寄託作品 1934年頃
写真	大辻清司 オートスライド作品を制作する実験工房メンバー	1953年
写真	大辻清司 ミシェル・タピエと瀧口修造	1957年
写真	大辻清司 斎藤義重、瀧口修造、山口勝弘(浦安にて)	1957年
写真	大辻清司 講演する岡本太郎	1950年代
写真	大辻清司 岡本太郎(壁画原型を製作中)	1956年
写真	安斎重男 Richard Serra from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年
写真	安斎重男 Daniel Buren #1 from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年
写真	安斎重男 Daniel Buren #2 from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年
写真	安斎重男 Daniel Buren #3 from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年
写真	安斎重男 Jannis Kounellis from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年
写真	安斎重男 Sol Lewitt from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年

写真	安斎重男 Mario Merz from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年
写真	安斎重男 Christ #1 from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年
写真	安斎重男 Christ #2 from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年
写真	安斎重男 Christ #3 from the 10th Tokyo Biennale	1993(1996)年
写真	ナン・ゴールディン 川沿いの木、ミュンヘン	寄託作品 1994年
写真	ナン・ゴールディン 波止場のガイド	寄託作品 1998年
写真	東松照明 伊藤家	平成22年度新収蔵作品 1958年

前室 2

素描	木村忠太 クロ・サンピエール	1977年
素描	木村忠太 クロ・サンピエール	1981年
彫刻	加藤孝一 ホオツエ	木村定三コレクション 制作年不詳
彫刻	アレクサンダー・コルダー ゴースト	寄託作品 1976年
彫刻	浜田知明 無聊	木村定三コレクション 1988年
彫刻	アレクサンダー・コルダー 片膝ついて	1944(1968)年
油彩	木村忠太 ヌムールの運河	1966年
油彩	山口長男 庭	1935年

展示室 7 特集 野村博

版画	野村博 作品59-21	1959年
版画	野村博 作品60-25	1960年
版画	野村博 作品61-53	1961年
版画	野村博 作品60-32-a	1960年
版画	野村博 作品60-32-b	1960年
版画	野村博 作品60-32-c	1960年
版画	野村博 作品60-32-d	1960年
版画	野村博 作品62-63	1962年

版画	野村博 律の広場-15	1963年
版画	野村博 律の広場-15(b)	1964年
版画	野村博 歴史(三部作)夜明け	1963年
版画	野村博 歴史(三部作)昼	1963年
版画	野村博 歴史(三部作)夜	1963年
版画	野村博 ゼノンの矢-8	1964年

版画	野村博 ゼノンの矢-15	1964年
版画	野村博 ゼノンの矢-16	1964年
版画	野村博 ゼノンの矢-16(b)	1964年

版画	野村博 記憶-a	1965年
版画	野村博 記憶-b	1965年

版画	野村博 ゼノンの矢-27	1965年
----	-----------------	-------

版画	野村博 ゼノンの矢-28	1965年
----	-----------------	-------

版画	野村博 酔いどれ船-2	1969年
----	----------------	-------

版画	野村博 壁- 1	1969年
----	-------------	-------

版画	野村博 作品81ー61	1981年
----	----------------	-------

版画	野村博 ブラックホール-19(d)	1982年
----	----------------------	-------

版画	野村博 ブラックホール-19(c)	1982年
----	----------------------	-------

版画	野村博 黒い点ー10	1980年
----	---------------	-------

版画	野村博 失われた時間ー8	1991年
----	-----------------	-------

版画	野村博 失われた時間ー7	1991年
----	-----------------	-------

展示室 8 木村定三コレクション 小さな旅

素描	小松均 中支写生帖 第一冊、第二冊	木村定三コレクション 1939年
----	----------------------	---------------------

素描	須田昶太 桂林	木村定三コレクション 1984年
----	------------	---------------------

素描	須田昶太 モンゴール馬	木村定三コレクション 制作年不詳
----	----------------	---------------------

素描	須田昶太 ゴビ高原	木村定三コレクション 1974年
----	--------------	---------------------

素描	須田昶太 ポルトガル オリーヴ畑	木村定三コレクション 1983年
----	---------------------	---------------------

素描	須田昶太 ヴァイヨンヌ教会	木村定三コレクション 1984年
----	------------------	---------------------

版画	二見彰一 旅の夜に	木村定三コレクション 1976年
----	--------------	---------------------

版画	二見彰一 シエナの塔	木村定三コレクション 1976年
----	---------------	---------------------

素描	香月泰男 クレタ、ヘラクリオン	木村定三コレクション 1972年
----	--------------------	---------------------

素描	香月泰男 ニース海岸	木村定三コレクション 制作年不詳
----	---------------	---------------------

素描	香月泰男 パリ風景	木村定三コレクション 1966年
----	--------------	---------------------

素描	香月泰男 モンマルトルにて	木村定三コレクション 1956年
----	------------------	---------------------

素描	香月泰男 巴里風景	木村定三コレクション 1956年
----	--------------	---------------------

油彩	小林研三 『小さい旅』より 白い風景のボコ	木村定三コレクション 制作年不詳
----	--------------------------	---------------------

油彩	小林研三 『小さい旅』より 静かな朝がきて小鳥たちよ	木村定三コレクション 1968/1969年
----	-------------------------------	--------------------------

油彩	小林研三 春の夕	木村定三コレクション 1970年
----	-------------	---------------------

油彩	小林研三 『小さい旅』より 小鳥達よ夕暮にやすらかなまどいを	木村定三コレクション 1969年
----	-----------------------------------	---------------------

版画	小林研三 『小林研三 銅版画集 小さな旅』	木村定三コレクション 1970年
----	--------------------------	---------------------

ロビー

彫刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996年
----	-----------------------	-------

10階屋上庭園(レストラン脇)

彫刻	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈 1984年
----	----------------------	------------------------

屋外展示スペース I (12階屋上)

彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
----	----------------------	-------

彫刻	加藤昭男 大地	1986年
----	------------	-------

彫刻	小田襲 円柱の構造	1988年
----	--------------	-------

屋外展示スペース II (10階)

彫刻	今井瑾郎 大地	1992年
----	------------	-------

12階アールスペースロビー

彫刻	舟越保武 花を持つ少女	1966年
----	----------------	-------

■2011年度第2期所蔵作品展出品リスト〔2011年7月9日－9月4日〕

展示室5にて寄託作品も合わせるかたちでフランス美術の特集展示を行った。また、展示室6で山口勝弘の立体作品を、展示室7にてクリムトほかドイツ、オーストリアの作品を展示することで通常の所蔵作品展とは異なる新鮮な印象づくりを図った。さらに展示室8の書の展示は、木村コレクションの奥深さを強く示した。

ラウンジ

彫刻	ふじい忠一 Untitled	1990年
----	-------------------	-------

前室1 棟方志功と「版画」

版画	川上澄生 初夏の風	1926年
----	--------------	-------

版画	古川龍生 少女石蹴図『HANGA』13より	1928年
----	--------------------------	-------

版画	平塚運一 相州風景 『HANGA』13より	1928年
----	--------------------------	-------

版画	川上澄生 看板 『風』（再刊1号）より	1929年
----	------------------------	-------

版画	川上澄生 水兵 『HANGA』13より	1928年
----	------------------------	-------

版画	棟方志功 扇、数々を増す『版画』（合本）より	1933年
----	---------------------------	-------

版画	川上澄生 うなぎ 『詩と版画』10より	1925年
----	------------------------	-------

版画	川上澄生 異国雨の夕景	1925年
----	----------------	-------

展示室5 フランス美術の流れ 19世紀後半から20世紀へ

油彩	クロード・モネ セーヌ河の湾曲部 ラヴァクール、冬	寄託 1879年
----	------------------------------	-------------

油彩	アルベール・マルケ ハンブルクの運河	寄託 1909年
----	-----------------------	-------------

油彩	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906年
----	-----------------------	-------

油彩	ピエール・ボナール にぎやかな風景	1913年頃
----	----------------------	--------

油彩	アンリ・マティス 待つ	1921-1922年
----	----------------	------------

彫刻	オーギュスト・ロダン 歩く人	1900年
----	-------------------	-------

版画	アンリ・ド・トゥールーズ・ロートレック ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ	寄託 1891年
----	---	-------------

版画	オディロン・ルドン 光の横顔	寄託 1886年
----	-------------------	-------------

版画	アンリ・ド・トゥールーズ・ロートレック マルセル・ランデル嬢の胸像	寄託 1895年
----	--------------------------------------	-------------

版画	ピエール・ボナール 小さな洗濯屋さん	寄託 1896年
----	-----------------------	-------------

版画	エドゥワール ヴュイヤール 母性	寄託 1896年
----	---------------------	-------------

油彩	エドゥワール ヴュイヤール 窓辺の女	1898年
----	-----------------------	-------

油彩	ピエール・ボナール 子供と猫	1906年頃
----	-------------------	--------

油彩	藤田嗣治 横臥裸婦	寄託 1931年
----	--------------	-------------

油彩	藤田嗣治 トヨタ自動車株式会社からの寄付金により購入 青衣の少女	1925年
----	-------------------------------------	-------

油彩	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911-1913年
----	-------------------------	------------

油彩	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	株式会社東海銀行寄贈 1902年
----	--------------------	---------------------

油彩	マルク・シャガール オペラ座	寄託 1953年
----	-------------------	-------------

油彩	アンドレ・ボーシャン フィアンセを訪ねて	1928年
----	-------------------------	-------

彫刻	レイモン・デュシャン＝ヴィヨン 恋人たち	1913年
----	-------------------------	-------

油彩	ジャック ヴィヨン 存在	1920年
----	-----------------	-------

油彩	フランティšek・クプカ 灰色と金色の展開	1919年
----	--------------------------	-------

彫刻	オシップ・ザッキン チュロのトルソ	1956-1957年
----	----------------------	------------

彫刻	アレクサンダー・アーチベンコ 歩く女	1912年
----	-----------------------	-------

油彩	ジョーゼフ・アルバース 正方形頌	1962年
----	---------------------	-------

油彩	アド・ラインハート No.114	1950年
----	---------------------	-------

油彩	オノサトシノブ 三つの黒	1958年
----	-----------------	-------

アクリル	フランク・ステラ リヴァー・オブ・ボンズIV	1969年
------	---------------------------	-------

素描	クリスト 包まれた旧ドイツ帝国国会議事堂 ベルリンのためのプロジェクト	1986年
----	--	-------

彫刻	ルイーズ・ニーヴェルソン 漂う天界	1959-1966年
----	----------------------	------------

版画	荒川修作 それはその中に	1978年
----	-----------------	-------

彫刻	ジョージ・リッキー 動く菱形と正方形	寄託 1990年
----	-----------------------	-------------

彫刻	庄司達 白い布による空間' 68-2	1968年(1979年再制作)
----	-----------------------	-----------------

油彩	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
----	------------------------	-------

版画	ロバート・ラウシェンバーグ プレヴュー（白霜エディション）	1974年
----	----------------------------------	-------

アクリル	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
------	---------------------	----------

彫刻	伊藤誠 頂上	2004年
----	-----------	-------

展示室6 特集 山口勝弘

写真	大辻清司 斎藤義重、瀧口修造、山口勝弘(浦安にて)	1957年
----	------------------------------	-------

彫刻	山口勝弘 ヴィトリース	1955年
----	----------------	-------

彫刻	山口勝弘 港 No. 2	1966年
----	-----------------	-------

前室2

ガラス 絵	山田光春 蝨	山田愛子氏寄贈 1937年
----------	-----------	------------------

ガラス 絵	芹沢銈介 果物	木村定三コレクション 1976年
----------	------------	---------------------

彫刻	アレクサンダー・コルダー ゴースト	寄託 1976年
----	----------------------	-------------

ガラス 絵	熊谷守一 笹百合	1964年
----------	-------------	-------

彫刻	アレクサンダー・コルダー 片膝ついて	1944（1968）年
----	-----------------------	-------------

彫刻	北山善夫 言葉が輝くとき	1987年
----	-----------------	-------

展示室7 ヨーロッパの絵画 ウィーン分離派からシュルレアリスムまで

油彩	レオ・ブッツ 花と女	寄託 制作年不詳
----	---------------	-------------

版画	ハインリヒ・レフラー H. C. アンデルセン『王女と豚飼い』	寄託 1879年
----	------------------------------------	-------------

版画	R・ゲイリング 『都市の舞踏会』	寄託 1909年
版画	C.O. チェシュカ 『カイト著「ニールンゲン」より「クリームヒルトの夢とグータフリートの旅」』	寄託 1908年
版画	マックス・ベックマン カフェミュージック	1918年
版画	エゴン・シーレ 裸の男Ⅰ（自画像）	寄託 1912年
版画	エゴン・シーレ しゃがみこむ女	1914年（1919年）
油彩	フランツ・フォン・シュトゥック ファウヌたちに聞き耳を立てられている泉の精（ニソフ）	寄託 1911年頃
油彩	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭	1935年
油彩	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年
油彩	グスタフ・クリムト トヨタ自動車株式会社からの寄付金により購入 人生は戦いなり（黄金の騎士）	1903年
油彩	エミール・ノルデ 静物L（アマゾン、能面等）	1915年
油彩	パウル・クレー 女の館	1921年
油彩	ジョアン・ミロ 絵画	1925年
油彩	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
油彩	ポール・デルヴォー こだま（あるいは「街路の神秘」）	1943年
油彩	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海Ⅰ	1927年
油彩	ベン・ニコルソン 1933（スペインの絵葉書のあるコラージュ）	1933年
コラージュ	クルト・シュヴィッターズ メルツ絵画52、美容	1920年
コラージュ	クルト・シュヴィッターズ メルツ絵画305、ロボシツ	1921年

展示室 8 木村定三コレクション 富岡鉄斎と大田垣蓮月

工芸	大田垣蓮月 菓子器	木村定三コレクション 明治時代（19世紀）
工芸	大田垣蓮月 平茶碗	木村定三コレクション 明治時代（19世紀）
工芸	大田垣蓮月 亀香合	木村定三コレクション 明治時代（19世紀）
工芸	大田垣蓮月 徳利	木村定三コレクション 1875年
書画	大田垣蓮月 和歌短冊 6点	木村定三コレクション 1872年他
書画	大田垣蓮月 蓮月尼短冊帖	木村定三コレクション 1869年-1874年 紙本墨書
書画	大田垣蓮月 水鶏の歌 掛け幅	木村定三コレクション 1867年
書画	大田垣蓮月 和歌短冊「あふことは」掛け幅	木村定三コレクション 1868年
書画	富岡鉄斎 寄国祝歌 短冊	木村定三コレクション 1916年
日本画	富岡鉄斎 虎偃育虎子図	木村定三コレクション 1914年
日本画	富岡鉄斎 暁山雲図	木村定三コレクション 1923年
日本画	富岡鉄斎 溪流鶴図炉屏	木村定三コレクション 1920年
日本画	富岡鉄斎 都三景図	木村定三コレクション 1924年
工芸	富岡鉄斎 長方手付梅花図磁鉢	木村定三コレクション 1921年
日本画	富岡鉄斎 百事如意図	木村定三コレクション 1918年
日本画	富岡鉄斎 大國大神神影	木村定三コレクション 1924年
工芸	富岡鉄斎 竹詩画器局 銘暎雲	木村定三コレクション 制作年不詳

工芸	富岡鉄斎 富士山図茶碗	木村定三コレクション 制作年不詳
工芸	富岡鉄斎 遠山雪景図茶碗	木村定三コレクション 1917年
工芸	富岡鉄斎 菊図急須	木村定三コレクション 制作年不詳
工芸	富岡鉄斎 福祿寿書金欄手盃	木村定三コレクション 1921年

地下2階 フォーラム

彫刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996年
----	-----------------------	-------

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈 1984年
----	----------------------	------------------------

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻	加藤昭男 大地	1986年
彫刻	小田襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻	今井瑾郎 大地	1992年
----	------------	-------

12階アートスペースロビー

彫刻	舟越保武 花を持つ少女	1966年
----	----------------	-------

■2011年度第3期所蔵作品展出品リスト〔2011年9月16日－10月30日〕

展示室4は「メイキング・オブ・クマガイ モリカズ」と題し、岐阜県美術館の所蔵作品も加えて熊谷守一の創作のプロセスを追った。また、欧米のキュビズムを独自の方法で解釈した島田章三展に合わせて、展示室5では欧米と日本との作品の影響関係を検証した。展示室6「物語るかたち」は視覚に障がいのある方に向けたプログラム実施を念頭に立体作品を配置し、展示室7は愛知の美術シリーズの初回として日本画の前衛表現を紹介した。さらに展示室8「戦後の具象表現」は島田章三を始めとする具象画家の活動をあらためて振り返る機会とした。

ラウンジ

彫刻	土谷武 植物空間 I - a	1989年
----	-------------------	-------

前室1 木村定三コレクション メイキング・オブ・クマガイ モリカズ

油彩	熊谷守一 たまご	木村定三コレクション 1959年
----	-------------	---------------------

油彩	熊谷守一 瓜	木村定三コレクション 1965年
----	-----------	---------------------

展示室4 木村定三コレクション メイキング・オブ・クマガイ モリカズ

素描	熊谷守一 40 牝猫	岐阜県美術館所蔵 1959年
----	---------------	-------------------

油彩	熊谷守一 猫	木村定三コレクション 1965年
----	-----------	---------------------

油彩	熊谷守一 三毛猫	木村定三コレクション 1959年
----	-------------	---------------------

油彩	熊谷守一 雨滴	木村定三コレクション 1961年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 石亀	木村定三コレクション 1957年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 土饅頭	木村定三コレクション 1954年
----	-------------	---------------------

日本画	熊谷守一 蝦蟆に蟻	木村定三コレクション 1938年
-----	--------------	---------------------

日本画	熊谷守一 不動明王	木村定三コレクション 1940年
-----	--------------	---------------------

日本画	熊谷守一 観世音菩薩	木村定三コレクション 1940年
-----	---------------	---------------------

日本画	熊谷守一 70 観世音菩薩	岐阜県美術館所蔵 1938年
-----	------------------	-------------------

日本画	熊谷守一 拾得	木村定三コレクション 1958年
-----	------------	---------------------

日本画	熊谷守一 寒山	木村定三コレクション 1958年
-----	------------	---------------------

日本画	熊谷守一 220 拾得図	岐阜県美術館所蔵 1943-47年
-----	-----------------	----------------------

日本画	熊谷守一 219 寒山図	岐阜県美術館所蔵 1943-47年
-----	-----------------	----------------------

日本画	熊谷守一 戢に虻	木村定三コレクション 1941年
-----	-------------	---------------------

日本画	熊谷守一 蟻	木村定三コレクション 制作年不詳
-----	-----------	---------------------

日本画	熊谷守一 双鶏	木村定三コレクション 1940年
-----	------------	---------------------

素描	熊谷守一 178 (双鶏)	岐阜県美術館所蔵 1940年以前
----	------------------	---------------------

日本画	熊谷守一 眠猫	木村定三コレクション 1953年
-----	------------	---------------------

日本画	熊谷守一 椿に黒鶴	木村定三コレクション 1966年
-----	--------------	---------------------

日本画	熊谷守一 鯉	木村定三コレクション 1958年
-----	-----------	---------------------

素描	熊谷守一 292 海 (海の図)	岐阜県美術館所蔵 1957年
----	---------------------	-------------------

油彩	熊谷守一 海の図	木村定三コレクション 1957年
----	-------------	---------------------

油彩	熊谷守一 高原ノ道	木村定三コレクション 1940年
----	--------------	---------------------

油彩	熊谷守一 氏家桃林	木村定三コレクション 1956年
----	--------------	---------------------

油彩	熊谷守一 引潮	木村定三コレクション 1951年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 上ヶ潮	木村定三コレクション 1952年
----	-------------	---------------------

油彩	熊谷守一 子牛	木村定三コレクション 1952年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 池水	木村定三コレクション 1961年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 雨水	木村定三コレクション 1959年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 雨水	木村定三コレクション 1959年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 焚火	木村定三コレクション 1956年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 野火	木村定三コレクション 1961年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 漁村	木村定三コレクション 1954年
----	------------	---------------------

油彩	熊谷守一 朝の日輪	木村定三コレクション 1955年
----	--------------	---------------------

素描	熊谷守一 39 (牝猫)	岐阜県美術館所蔵 1958年
----	-----------------	-------------------

素描	熊谷守一 308 雨	岐阜県美術館所蔵 1957-59年
----	---------------	----------------------

素描	熊谷守一 15 石ガメ	岐阜県美術館所蔵 1957年
----	----------------	-------------------

素描	熊谷守一 291 土饅頭 (墓標)	岐阜県美術館所蔵 1954年
----	----------------------	-------------------

工芸	熊谷守一 かたつむり文額皿	木村定三コレクション 制作年不詳
----	------------------	---------------------

工芸	熊谷守一 虻文壺	木村定三コレクション 1943年
----	-------------	---------------------

素描	熊谷守一 295 焚火	岐阜県美術館所蔵 1955年
----	----------------	-------------------

彫刻	熊谷守一 臥裸婦	木村定三コレクション 1955年
----	-------------	---------------------

彫刻	熊谷守一 裸	木村定三コレクション 1952年
----	-----------	---------------------

展示室5 その土地の美術 欧米美術と日本の芸術家

油彩	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海 I	1927年
----	--------------------------	-------

油彩	グスタフ・クリムト トヨタ自動車株式会社からの寄付会により購入 人生は戦いなり (黄金の騎士)	1903年
----	--	-------

油彩	フランティシュク・クプカ 灰色と金色の展開	1919年
----	--------------------------	-------

油彩	ジョアン・ミロ 絵画	1925年
----	---------------	-------

油彩	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
----	------------------------	-------

油彩	ポール・デルヴォー こだま (あるいは「街路の神秘」)	1943年
----	--------------------------------	-------

油彩	パウル・クレー 女の館	1921年
----	----------------	-------

油彩	エミール・ノルデ 静物L (アマゾン、能面等)	1915年
----	----------------------------	-------

版画	ジョルジュ・ブラック 小さなキュビズムのギター 1909年(1954年)	
----	---	--

版画	ジョルジュ・ブラック コンポジション(グラスのある静物) 1911年(1950年)	
----	--	--

版画	ジョルジュ・ブラック FOX 1911年 (1912年)	
----	---------------------------------	--

版画	パブロ・ピカソ 男と犬 1914年 (1930年)	
----	------------------------------	--

版画	パブロ・ピカソ ギターを持つ男	1915年（1929年）
版画	ジャック・ヴィヨン 機械のある工場	1914年
版画	カジミール・マレーヴィチ 建設者の完全なる肖像	1913年
水彩画	ルーチョ・フォンターナ 空間概念	1960年
アクリル	ジャン・フォートリエ 黒の青	寄託作品 1959年
油彩	デヴィッド・シャピロ マントラ6	磯上郁子氏遺贈 1992年
アクリル	フランク・ステラ リヴァー・オブ・ポンズIV	1969年
油彩	菅井汲 ナショナル・ルート No.11	1964年
彫刻	ジョージ・シーガル ロバート & エセル・スカルの肖像	1965年
油彩	須田尅太 作品1984曼陀羅	1984年
油彩	田淵安一 風のしじまNo.1	1991年
版画	サム・フランシス 春	1984?88年
油彩	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
彫刻	ルイーズ・ニーヴェルソン 漂う天界	1959-1966年
アクリル	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
アクリル	百瀬寿 Square-NE XIV : Twelve Stripes	1987年
アクリル	イ・ヨンヒ 因縁Ⅶ	2005年
彫刻	久野真 鋼鉄による作品	1982年
彫刻	桑山忠明 untitled	2001年
彫刻	清水九兵衛 CORRESPOND D	2006年

展示室 6 物語るかたち

彫刻	エルンスト・バルラッハ 母なる大地	1921年
彫刻	エルンスト・バルラッハ 忘我	1911?12年
彫刻	ケーテ・コルヴィッツ 恋人たちⅡ	1913年（1973年頃鑄造）
彫刻	ジョルジュ・ミンヌ 聖遺物箱を担ぐ少年	1897年

彫刻	メダルド・ロッソ 病める子	1893年
彫刻	本郷新 無辜の民 油田地帯	1970年（1991年鑄造）
彫刻	本郷新 無辜の民 仏生	1970年（1991年鑄造）
彫刻	中原悌二郎 エチュード	1914年（1991年鑄造）

前室 2

彫刻	木内克 裸婦（すわる）	木村定三コレクション 1961年
彫刻	原裕治 アボクリファ No1	1994年
彫刻	アレクサンダー・コルダー ゴースト	寄託作品 1976年
日本画	中村正義 舞妓	1974年
油彩	杉本健吉 仏頭	制作年不詳
彫刻	アレクサンダー・コルダー 片膝ついて	1944（1968）年
油彩	中山泰 石切山	1961年

展示室 7 愛知の美術Ⅰ 日本画の革新

日本画	平川敏夫 萌林	1960年
日本画 前期	中村正義 峠への道	1960年
日本画 後期	我妻碧宇 湖	1960年頃
日本画	大森運夫 家	1964年
日本画	高畑郁子 聖界	1980年
日本画	星野真吾 喪中の作品（昇天）	1965年
日本画	水谷勇夫 担夫	1960年
日本画	堀尾実 風	1953年
日本画	田淵俊夫 青木ヶ原	1969年

展示室 8 戦後の具象絵画

油彩	杉本健吉 宇治川	1973年
油彩	尾崎良二 残照の海	1975年

油彩	三栖右嗣 道	1982年
油彩	糸園和二郎 丘の或る日	1979年
油彩	國領経郎 風	1981年
油彩	佐々木豊 おんなの部屋	1979年
油彩	大沼映夫 二人	1977年
油彩	笠井誠一 室内	1964年
油彩	島田鮎子 白の想い	1997年

ロビー

彫刻	湯原和夫 無題 00-1	2000年
----	-----------------	-------

地下 2 階 フォーラム

彫刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996年
----	-----------------------	-------

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻	アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈 1984年
----	----------------------	------------------------

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻	加藤昭男 大地	1986年
彫刻	小田襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻	今井瑾郎 大地	1992年
----	------------	-------

12階アートスペースロビー

彫刻	舟越保武 花を持つ少女	1966年
----	----------------	-------

■2011年度第4期所蔵作品展出品リスト〔2011年11月11日－2012年1月22日〕

展示室4では年始の時期に合わせて日本画を特集して展示した。また、ポロック展の理解を深めるために、展示室5並びに展示室7にて、ポロックと同時代の欧米と日本、そして愛知の前衛絵画の動向を追った。一方、展示室6、前室2及びフォーラムでは、テーマ展として若手映像作家の瑞々しい表現を紹介し、展示室8では小山富士夫のおおらかな陶の表現を特集した。

前室1		
工芸	藤井達吉 梅花文文箱	1913-1916年頃
工芸	藤井達吉 継色紙風蓋物	藤井達吉コレクション 1947年頃

展示室4 近代日本画の名品

日本画	速水御舟 西郊小景	1923年
日本画	小茂田青樹 漁村早春	1921年
日本画	小茂田青樹 柿	1919年頃
日本画	菱田春草 紅葉山水	1908年頃
日本画	横山大観 飛泉	1900年頃
日本画	前田青邨 江島詣	1917年
日本画	竹内栖鳳 狐狸図	1908年頃
日本画	橋本関雪 猿猴待月	1938年頃
日本画	小茂田青樹 薄雪鳩	木村定三コレクション 制作年不詳
日本画	橋本雅邦 秋景山水図	1887年
日本画	上村松園 鼓の音	寄託作品 1938年
日本画	安田靉彦 柿	寄託作品 1958年
日本画	安田靉彦 豊太閤	寄託作品 昭和戦前期
日本画	速水御舟 木瓜	寄託作品 1932年
日本画	鐙木清方 蛭	1938年

展示室5 20世紀の美術 ポロック以後の絵画を中心に

油彩	ジョアン・ミロ 絵画	1925年
油彩	ポール・デルヴォー こだま(あるいは「街路の神秘」)	1943年

油彩	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
油彩	パウル・クレー 女の館	1921年
油彩	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士)	トヨタ自動車株式会社からの寄付金により購入 1903年
油彩	フランティšek・クプカ 灰色と金色の展開	1919年
水彩画	ルーチョ・フォンターナ 空間概念	1960年
油彩	ジャン・フォートリエ 黒の青	寄託作品 1959年
油彩	アントニ・タピエス コンポジション	1977年
油彩	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933年
油彩	杉全直 窪んだ空間B	1958年
油彩	元永定正 作品	1961年
油彩	白髪一雄 作品	1963年
油彩	斎藤義重 作品	1962年
油彩	堂本尚郎 絵画1962-25	1962年
エナメル	中西夏之 人間の地図	寄託作品 1959年
アクリル	フランク・ステラ リヴァー・オブ・ボンズIV	1969年
アクリル	桑山忠明 茶白青	1968年
油彩	アド・ラインハート No. 114	1950年
アクリル	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
彫刻	ルイーズ・ニーヴェルソン 漂う天界	1959-1966年
彫刻	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年
油彩	中村一美 破舎仏涅槃図I	1993-95年
アクリル	根岸芳郎 1997-11-18	1997年

アクリル	松本陽子 光は荒野の中に拡散している	1993年
油彩	辰野登恵子 Untitled 95-1	1995年
油彩	館勝生 her sins	1999年頃

展示室6 テーマ展 水野勝規 ライトスケープ

映像	水野勝規 light scape	作家蔵 2011年
映像	水野勝規 light scape	作家蔵 2011年

前室2

油彩	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
油彩	山口長男 庭	1935年
アクリル画	小池隆英 無題	2006年
ガラス絵	山田光春 門	山田愛子氏寄贈 1936年
映像	水野勝規 luminence	作家蔵 2011年

展示室7 愛知の美術Ⅱ 新しい表現を求めて

版画	吉岡弘昭 変身シリーズNo.1	1969年
版画	吉岡弘昭 変身シリーズNo.2	1969年
版画	吉岡弘昭 MEMORY (Black)	1972年
版画	野村博 歴史(三部作) 夜明け	1963年
版画	野村博 歴史(三部作) 昼	1963年
版画	野村博 歴史(三部作) 夜	1963年
版画	近藤文雄 M氏の肖像	1966年
版画	近藤文雄 さらしもの(3)	1964年
版画	近藤文雄 裁き	1962年

油彩	山田彊一 婆羅門No. 1	1962年
油彩	竹田大助 失題 10	1961年
油彩	竹田大助 失題 13	1961年
油彩	森真吾 きいろの角	1964年
油彩	八島正明 忘れたわけではない	1976年
油彩	浅野弥衛 作品	1979年
油彩	稲葉桂 土にかえるもの65-1	1965年

展示室 8 古山子 小山富士夫

陶磁	小山富士夫 絵唐津水指	木村定三コレクション 20世紀
書画	小山富士夫 壺	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 絵唐津壺	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 種子島壺	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 青白磁壺	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 種子島下蕪形花生	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 オランダ水指	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 オランダ水指	木村定三コレクション 1972年
陶磁	小山富士夫 種子島茶碗 銘黒主	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 種子島茶碗 銘三笠山	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 粉引茶碗 銘北極星	木村定三コレクション 20世紀

陶磁	小山富士夫 粉引茶碗 銘森の囀り	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 刷毛目茶碗 銘留守観音	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 絵唐津大茶碗	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 種子島茶碗 銘黒色尉	木村定三コレクション 1973年
陶磁	小山富士夫 花ノ木茶碗 銘満月	木村定三コレクション 1973年
陶磁	小山富士夫 種子島花生	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 種子島花生	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 斑唐津茶碗 銘ローレイ	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 斑唐津茶碗 銘白色尉	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 白地鉄絵草文水指	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 白磁水指	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 種子島備前風水指	木村定三コレクション 20世紀
書画	小山富士夫 銀河貫千里	木村定三コレクション 20世紀
書画	小山富士夫 扇面書 良寛「草庵の雪夜の詩」	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 色絵徳利	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 色絵筋文酒盃	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 色絵「花」字盃	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 青白磁酒盃	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 備前徳利	木村定三コレクション 1973年

陶磁	小山富士夫 粉引盃（銘残月）	木村定三コレクション 20世紀
陶磁	小山富士夫 種子島土酒盃	木村定三コレクション 1973年
陶磁	小山富士夫 唐津酒盃	木村定三コレクション 20世紀

地下 2 階 フォーラム

彫刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996年
----	-----------------------	-------

10階 フォーラム

映像	水野勝規 monotone	作家蔵 2005年
映像	水野勝規 monotone	作家蔵 2006年

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻	アルナルド・ポモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984年
----	------------------------------------	-------

屋外展示スペース I（12階屋上）

彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻	加藤昭男 大地	1986年
彫刻	小田襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペース II（10階）

彫刻	今井瑾郎 大地	1992年
----	------------	-------

12階アールスペースロビー

彫刻	舟越保武 花を持つ少女	1966年
----	----------------	-------

■2011年度第5期所蔵作品展出品リスト〔2012年2月3日－3月25日〕

同時開催の展覧会 うつし、うつくし（所蔵作品による）：

展示室1から3では、「うつし」（写・映・移）をキーワードとして、版画や型どり・転写・写真の応用・材質置換・下絵と本画・引用と借用など、様々な実例を愛知県美術館の所蔵作品によって示し、「うつし」が単に制作プロセスにおける技術的な要素であるにとどまらず、美術の表現に大きな広がりや豊かさをもたらしていることを紹介した。

島根県立美術館で開催した愛知県美術館の所蔵作品展「ふらんす物語」を愛知県美術館でも展示室4、5を用いて再度スケールを変えて開催した。また、展示室7にて行われた杉本健吉の『新・平家物語』の特集や近年収蔵された山本直彰の特集（展示室6）、須田剋太の特集（展示室8）など、充実した内容の所蔵作品展となった。

展示室1			版画	川瀬巴水 札幌中ノ島夕月	小川潤三・郁子氏寄贈 1933年	彫刻	戸張孤雁 煌めく嫉妬	1924年
写真を応用した絵画			版画	川瀬巴水 大宮見沼川（とびかう蟹）	小川潤三・郁子氏寄贈 1930年	彫刻	戸張孤雁 煌めく嫉妬	1924年(铸造年不詳)
油彩	エドワード・ジョン・ポインター 世界の若かりし頃	1891年	版画	川瀬巴水 大手門之春之夕暮	小川潤三・郁子氏寄贈 1952年	彫刻	戸張孤雁 煌めく嫉妬	1924年(1996年铸造)
油彩	アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン	1975年	版画	川瀬巴水 清洲橋	小川潤三・郁子氏寄贈 1931年	彫刻	メソポタミア 円筒印章(動物列)	木村定三コレクション ジェムデト・ナスル期(前3100-2900年)
アクリル	三尾公三 FICTION SPACE(X)	1974年	版画	川瀬巴水 岡山之かねつき堂	小川潤三・郁子氏寄贈 1947年	彫刻	メソポタミア 円筒印章(闘争文)	木村定三コレクション アッカド時代(前2334-2194年)
油彩	上田薫 なま玉子G	1976年	版画	川瀬巴水 奈良春日神社	小川潤三・郁子氏寄贈 1933年	彫刻	メソポタミア 円筒印章(闘争文)	木村定三コレクション アッカド時代(前2334-2194年)
油彩	稲垣考二 光の帯	名古屋名城ライオンズクラブ寄贈 1998年	版画	川瀬巴水 目黒不動堂	小川潤三・郁子氏寄贈 1931年	彫刻	メソポタミア 円筒印章(謁見図)	木村定三コレクション アッカド時代(前2334-2194年)
版画	野田哲也 日記1978年2月10日	1978年	版画	川瀬巴水 野火止平林寺	小川潤三・郁子氏寄贈 1952年	彫刻	メソポタミア 円筒印章(謁見図)	木村定三コレクション イシム・ラルサ時代(前2000年頃)
版画	野田哲也 日記1979年8月10日	木村定三コレクション 1979年	展示室2			彫刻	北西イランから南東トルコ スタンプ円筒印章(狩獵文)	木村定三コレクション ウラルトゥ時代(前8-7世紀)
版画	野田哲也 日記1987年5月3日柏市亀甲台2-12-4にて	1987年	型によるうつし			彫刻	イラン 円筒印章(儀式)	木村定三コレクション アケメネス朝ペルシア(前5-4世紀)
版画	森岡完介 人は何処へ 77-3	1977年	陶器		木村定三コレクション 後漢時代	銅鏡		木村定三コレクション 青銅蟠螭文鏡 中国・前漢時代初期(前2世紀)
版画	森岡完介 Beethoven at the beach-Message 86-11P	愛知県美術館友の会寄贈 1986年	陶器		木村定三コレクション 奈良時代(8世紀)	銅鏡		木村定三コレクション 青銅方格規矩四神鏡 中国・前漢時代末期(前1世紀)
版画	森岡完介 Beethoven at the beach-Message 86-11N	愛知県美術館友の会寄贈 1986年	陶器		木村定三コレクション 素弁蓮華文軒丸瓦 朝鮮・三国時代新羅(7世紀中期)	銅鏡		木村定三コレクション 三角縁神獣鏡 制作年不詳
版画	フランツ・ゲルチュ ナターシャIV	1987-88年	青銅器		木村定三コレクション 四区袈裟襷文銅鐸 弥生時代(前1世紀頃)	銅鏡		木村定三コレクション 青銅双魚鏡 中国・金時代(12世紀)
川瀬巴水の木版画から-水鏡と影			彫刻	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年	銅鏡		木村定三コレクション 龍鏡(だりゅうきょう) 制作年不詳
版画	川瀬巴水 晴天の雪（宮島）	小川潤三・郁子氏寄贈 1921年	彫刻	イヴ・クライン アルマン（肖像レリーフ）	1962年	銅鏡		木村定三コレクション 青銅獸文五鈴鏡 古墳時代(6世紀)
版画	川瀬巴水 桔梗門	小川潤三・郁子氏寄贈 1929年	彫刻	戸張孤雁 立てる女	制作年不詳	銅鏡		木村定三コレクション 青銅草花蝶鳥鏡 平安時代後期(12世紀)
版画	川瀬巴水 品川	小川潤三・郁子氏寄贈 1931年	彫刻	戸張孤雁 立てる女	制作年不詳(1996年铸造)	版画の技法と転写		
版画	川瀬巴水 讃州豊浜	小川潤三・郁子氏寄贈 1936年	彫刻	中原悌二郎 エチュード	1914年	版木	戸張孤雁 画室（版木）	栃澤正一氏寄贈 1919年
版画	川瀬巴水 井之頭の春の夜	小川潤三・郁子氏寄贈 1931年	彫刻	中原悌二郎 エチュード	1914年(1991年铸造)	版画	戸張孤雁 画室（木版画稿）	1919年

版画	斎藤清 競艶	1973年
版画	北川民次 牛	1937年頃
版画	北川民次 メキシコの浴み	1941年頃
版画	マックス・ベックマン あくびをする人達	1918年
版画	長谷川潔 アネモネ	1930年
版画	佐藤暢男 メキシコの鳩	1972年
版画	長谷川潔 ジロスコープのある静物画	1966年
版画	木原康行 コンセカンズ 8	1980年
版画	長谷川潔 野辺小禽	1957年
版画	北川民次 マーケットの女たち	1970年
版画	ライオネル・ファイニンガー 緑色の橋	1910-11年
版画	長谷川潔 花(切りガラスに挿したアネモネと草花)	1944-45年
版画	駒井哲郎 時間の迷路	1952年
版画	野村博 ゼノンの矢-21(a)	野村富貴子氏寄贈 1964年
版画	野村博 ゼノンの矢-21(b)	野村富貴子氏寄贈 1964年
版画	ヴァシリー・カンディンスキー 鏡	1907年(1923年鑄造)
版画	パウル・クレー 蛾の踊り	1923年
版画	ロバート・ラウシェンバーク コース	1958年

下絵と本画、ヴァリエント

素描	川崎千虎 佐々木高綱被甲図画稿	川崎鈴彦氏寄贈 1884年頃
日本画	川崎千虎 佐々木高綱被甲図	川崎千春氏寄贈 1884年頃
日本画	小林古径 洗濯場その1	中央信託銀行株式会社からの寄附金により購入 1926年
素描	小林古径 洗濯場その1 下絵	1926年
日本画	小林古径 洗濯場その2	中央信託銀行株式会社からの寄附金により購入 1926年
素描	小林古径 洗濯場その2 下絵	1926年

油彩	熊谷守一 水仙	木村定三コレクション 1956年
油彩	熊谷守一 水仙	木村定三コレクション 1956年
油彩	熊谷守一 雨水	木村定三コレクション 1959年頃
油彩	熊谷守一 雨水	木村定三コレクション 1959年頃
油彩	熊谷守一 焚火	木村定三コレクション 1956年
油彩	熊谷守一 野火	木村定三コレクション 1961年
版画	浜田知明 情報過多の人間(『見える人』浜田知明銅版画集)	1984年
彫刻	浜田知明 情報過多の人間	木村定三コレクション 1984年
日本画	土田麦僊 蓮華(下図)	1930年

借用・引用と画中画

油彩	ジャック・ヴィヨン 存在	1920年
油彩	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
日本画	福田恵一 雄図	1940年
日本画	片岡球子 面構 歌川国貞・柳亭種彦	1980年
版画	蠟囀 グッドバイ・ムッシュ・ゴーギャン	1973年
版画	近藤文雄 6人の盲人たち	1968年
油彩	坂本夏子 Painters	2009年
油彩	横尾忠則 浪漫主義者の接吻	1986年

存在のうつし

日本画	星野真吾 喪中の作品(昇天)	1965年
日本画	星野真吾 正夢か	1981年
油彩	宇佐美圭司 ビッグ・バン	1987年
素描	宇佐美圭司 二重らせんをほどく	2005年
版画	ロバート・ラウシェンバーク プレヴュー (白霜エディション)	ギャラリー・ユマニテ寄贈 1974年
彫刻	出原次朗 逃げるものはとじこめる	作者寄贈 1993年

素描	エミコ・サワラギ・ギルバート ニア・ペイ IーIV	2003年
写真	杉浦邦恵 子猫の書類	1992年
アクリル	榎倉康二 干渉(Story-No.49)	1992年
コラージュ	竹村京 There and Now, kimi shini tamou koto nakare 2	2006年
版画	瑛九 作品	制作年不詳
版画	瑛九 驚き	1951年
版画	瑛九 しゃがんで	1951年

展示室 3

レイアウト	バク ヒョンギ(朴 炫基) ブルー・ダイニング・テーブル	1995年
-------	---------------------------------	-------

前室 1

油彩	山村國品 WORK91-32	作者寄贈 1991年
油彩	山村國品 WORK91-21	作者寄贈 1991年
油彩	山村國品 WORK91-2	作者寄贈 1991年

展示室 4 ふらんす物語、ふたたび

油彩	エドゥワール・ヴエイヤール 窓辺の女	1898年
油彩	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣	1902年
油彩	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906年
油彩	ピエール・ボナール 子供と猫	1906年頃
油彩	ピエール・ボナール にぎやかな風景	1913年頃
油彩	アンリ・マティス 待つ	中部電力株式会社寄贈 1921722年
油彩	正宗得三郎 パイナップルのある静物	正宗幹夫寄贈 1923年頃
彫刻	オーギュスト・ロダン 歩く人	1900年
油彩	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	(株) 東海銀行寄贈 1902年
油彩	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911713年
油彩	藤田嗣治 トヨタ自動車株式会社からの寄付金により購入 青衣の少女	1923年

彫刻	エミール＝アントワヌ・ブールデル ペネロープ	1909年
油彩	海老原喜之助 ゲレンデ	1930年
油彩	木下孝則 読書	1931年
油彩	梅原龍三郎 横臥裸婦	1908年
油彩	川島理一郎 伎場の図	1925年
油彩	林武 ノートルダム	1960年
油彩	荻須高德 線路に沿った家	1955年
油彩	岡鹿之助 窓	1949年

展示室5 ふらんす物語、ふたたび

油彩	山下新太郎 白耳義の少女	1909年
油彩	中村彝 静物	1915年頃
油彩	安井曾太郎 パンと肉	1910年
油彩	安井曾太郎 婦人像	1912年頃
油彩	林倭衛 サント・ヴィクトワール	1925年
油彩	里見勝蔵 裸婦	1928?29年頃
油彩	前田寛治 褐色婦人像	1925年
油彩	中山巍 青背座婦	桑原幹根氏寄贈 1927年
油彩	伊藤廉 肘をつく女	1929年
油彩	佐分真 裸婦	1930年頃
彫刻	荻原守衛 女の胴	1907年(1923年鑄造)
彫刻	中原悌二郎 憩える女	1919年
油彩	小出梢重 蔬菜静物	1925年
油彩	安井曾太郎 承德喇嘛廟	1938年
油彩	小島善太郎 房州風景	1930年(1927年)
彫刻	高田博厚 女のトルソ	1937年

油彩	矢橋六郎 武蔵野 冬 杉林	1941年
油彩	古賀春江 夏山	1927年
油彩	脇田和 黄いろの鳥	1970年
油彩	山口薫 ボタン雪と騎手	1953年
油彩	木村忠太 ヌムールの運河	1966年
油彩	三岸節子 らくがき	1973年
油彩	金山康喜 静物	1956年
油彩	難波田龍起 原初の風景B	1987年

油彩	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
----	------------------------	-------

アクリル	フランク・ステラ リヴァー・オブ・ボンズIV	1969年
------	---------------------------	-------

アクリル	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
------	---------------------	----------

彫刻	ルイーズ・ニーヴェルソン 漂う天界	1959-66年
----	----------------------	----------

彫刻	山本富章 Six Cadenzas-AUI-No.1	平成22年度新収蔵作品作者寄贈 1993年
----	-------------------------------	--------------------------

展示室5 愛知の美術III からっぽのステージ

油彩	櫃田伸也 空き地	1997年／2008年
----	-------------	-------------

油彩	櫃田伸也 空き地のプラン	作者寄贈 2003年
----	-----------------	---------------

油彩	杉戸洋 The Wave	2002年
----	-----------------	-------

アクリル	染谷亜里可 Decolor-Level 3	2001年
------	--------------------------	-------

油彩	奈良美智 YOU ARE NOT ALONE (君は独りぼっちじゃない)。	寄託作品 1995年
----	--	---------------

展示室6 山本直彰 扉、そして帰還

日本画	山本直彰 帰還Ⅲ	2009年
-----	-------------	-------

日本画	山本直彰 DOOR RN-3	平成22年度新収蔵作品 1996年
-----	-------------------	----------------------

素描	山本直彰 帰還ドローイング 1、5、10、11	平成22年度新収蔵作品 2009年
----	----------------------------	----------------------

前室2

油彩	赤塚祐二 hana129201	伊東善一郎氏寄贈 1992年
----	--------------------	-------------------

日本画	片岡球子 牡丹	1996年
-----	------------	-------

版画	島田章三 三人採花	平成22年度新収蔵作品 1985年
----	--------------	----------------------

油彩	岡崎乾二郎 眉をひそめる間柄(ヨソヨソシイ耳許)	平成22年度新収蔵作品作者寄贈 2009年
----	-----------------------------	--------------------------

油彩	岡崎乾二郎 過呼吸(唇に歯を押し、忘る)	平成22年度新収蔵作品作者寄贈 2009年
----	-------------------------	--------------------------

油彩	辻親造 さびたトタン	平成22年度新収蔵作品作者寄贈 1951年
----	---------------	--------------------------

彫刻	湯原和夫 作品No.4-68	"平成22年度新収蔵作品作者寄贈 作品No.4-68 1968年
----	-------------------	--

展示室7 杉本健吉 平清盛と『新・平家物語』

素描	杉本健吉 前進座 新橋演舞場 昭和38年12月興行パンフレット表紙の原画	1963年頃
----	---	--------

素描	杉本健吉 小説週刊朝日(および限定本)「わんわん市場」3のための下絵	1972年頃
----	---------------------------------------	--------

素描	杉本健吉 小説週刊朝日(および限定本)「祇園女御」6のための下絵	1972年頃
----	-------------------------------------	--------

素描	杉本健吉 小説週刊朝日(および限定本)「祇園女御」6のための下絵	1972年頃
----	-------------------------------------	--------

素描	杉本健吉 新装本第1巻「胎児清盛」原画 P39	1959年頃
----	----------------------------	--------

素描	杉本健吉 小説週刊朝日(および限定本)「貧乏草」2手控画稿	1972年頃
----	----------------------------------	--------

素描	杉本健吉 刊行本第1巻「去りゆく母」原画 P62	1951年
----	-----------------------------	-------

素描	杉本健吉 私家本第1巻「去りゆく母」原画 P62	1951年
----	-----------------------------	-------

発行物	杉本健吉 新・平家物語(私家本) 全24巻	1951-57年発行
-----	--------------------------	------------

素描	杉本健吉 「源氏の父子・平氏の父子」画稿	制作年不詳
----	-------------------------	-------

素描	杉本健吉 「鶏持ち小冠者」画稿	制作年不詳
----	--------------------	-------

素描	杉本健吉 小説週刊朝日(および限定本)「借宿の女御」のための下絵か	1972年頃
----	--------------------------------------	--------

素描	杉本健吉 週刊朝日第67回挿絵C「額打論」のための未発表画稿	1951年
----	-----------------------------------	-------

素描	杉本健吉 刊行本第2巻「一投石」原画 P62、63	1951年
----	------------------------------	-------

素描	杉本健吉 「美しき家族」画稿	制作年不詳
----	-------------------	-------

素描	杉本健吉 週刊朝日第61回挿絵A右「天皇恋し給ふ」原画	1951年
----	--------------------------------	-------

素描	杉本健吉 週刊朝日第130回カット「秋燈寸使ー前回までの梗概に代へて」のための下絵	1952年
----	--	-------

素描	杉本健吉 画帖上巻19「清盛と源義朝」原画	1955年頃
----	--------------------------	--------

素描	杉本健吉 週刊朝日第31回「窮鳥」の ための試作 1950年
素描	杉本健吉 週刊朝日第31回「窮鳥」の ための試作 1950年
素描	杉本健吉 週刊朝日第32回「黒業白心」 のための試作 1950年
素描	杉本健吉 週刊朝日第32回「いかづち 雲」のための試作 1950年
素描	杉本健吉 週刊朝日第38回カット「深 草謀議」原画 1950年
素描	杉本健吉 週刊朝日第42回挿絵B「非 時香果」原画 1950年か1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日第42回挿絵C「非 時香果」原画 1950年か1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日第43回挿絵A「清 盛帰る」原画 1950年か1951年
素描	杉本健吉 刊行本第4巻「桜と橘」原画 P139 1951年
素描	杉本健吉 刊行本第4巻「桜と橘」原画 P138 1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日 特集「絵巻・新平家物語」のた めの「逆さ兜の事」(清盛逆兜)未発表原稿 制作年不詳
素描	杉本健吉 刊行本第4巻「落伍」原画 P215 1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日第51回挿絵A 「胆大小心」原画 1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日第50回挿絵C「慈 悲喧嘩」原画 1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日第55回挿絵C「春 怨」原画 1951年
素描	杉本健吉 刊行本第4巻「続・常磐草 子」原画 P306 1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日第55回挿絵A 「忘れ妻」原画 1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日第55回挿絵B「春 怨」原画 1951年
素描	杉本健吉 新装本第2巻「いづち昔の 人行きにけん」原画 P227 1959年頃
素描	杉本健吉 小説週刊朝日（および限定 本）「天狗道場」235手控画稿 1972年頃
素描	杉本健吉 小説週刊朝日（および限定 本）「大天井」242手控画稿 1972年頃
発行物	杉本健吉 個人蔵 月刊誌「小説週間朝日」全12冊 1972年発行
素描	杉本健吉 小説週刊朝日扉絵もしくは限 定本表紙のための未発表画稿 1972年頃

素描	杉本健吉 新・平家物語（限定本） 全12巻（杉本健吉旧蔵） 1973発行
素描	杉本健吉 週刊朝日第65回挿絵A 「海の氏神」原画 1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日第65回カット「前 回までの梗概」原画 1951年
素描	杉本健吉 週刊朝日第65回挿絵B「黍 と粟と稗」原画 1951年
素描	杉本健吉 画帖 新平家物語扇面 「常磐草紙」 制作年不詳
素描	杉本健吉 画帖 新平家物語扇面 「夢占い」 制作年不詳
ブック フラッグ	杉本健吉 新・平家物語資料 個人蔵 作家によるスクラップブック 編集年不詳

展示室8 須田剋太

工芸 芸	須田剋太 木村定三コレクション 臥竜点晴 1986年
工芸 芸	須田剋太 木村定三コレクション 生命がけで仏にすぎる 1986年
書画	須田剋太 木村定三コレクション 一如 1988年
グ ラ フ ィ ッ シ ュ な ど	須田剋太 木村定三コレクション 少女 1984年
グ ラ フ ィ ッ シ ュ な ど	須田剋太 木村定三コレクション 舞妓 制作年不詳
グ ラ フ ィ ッ シ ュ な ど	須田剋太 木村定三コレクション 冬の越前海 1984年
グ ラ フ ィ ッ シ ュ な ど	須田剋太 木村定三コレクション 近江八幡水郷 1984年
グ ラ フ ィ ッ シ ュ な ど	須田剋太 木村定三コレクション 瀧原宮 1984年
グ ラ フ ィ ッ シ ュ な ど	須田剋太 木村定三コレクション 雪の東大寺 1984年
グ ラ フ ィ ッ シ ュ な ど	須田剋太 木村定三コレクション 道後温泉 1984年
グ ラ フ ィ ッ シ ュ な ど	須田剋太 木村定三コレクション 大井天主堂 内部 制作年不詳
油 彩	須田剋太 木村定三コレクション 田舎娘 1986年
油 彩	須田剋太 平成22年度新収蔵作品 田舎児 1986年
油 彩	須田剋太 木村定三コレクション 村祭り 1986年
グ ラ フ ィ ッ シ ュ な ど	須田剋太 木村定三コレクション 赤とんぼ 1986年

書 画	須田剋太 木村定三コレクション 天気晴朗 1986年
油 彩 、 シ ュ コ	須田剋太 木村定三コレクション 東京夜景 1983年
油 彩 、 シ ュ コ	須田剋太 木村定三コレクション 神戸夜景 1979年
陶 磁	須田剋太 木村定三コレクション 裸婦 1989年
陶 磁	須田剋太 木村定三コレクション 二人 1989年

10階 美術館ロビー

彫 刻	湯原和夫 平成22年度新収蔵作品作者寄贈 作品95?3 1995年
彫 刻	湯原和夫 平成22年度新収蔵作品作者寄贈 作品00-1 2000年
彫 刻	三沢厚彦 Animals 2008-01 2008年

地下二階 フォーラム

彫 刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆 1996年
--------	-----------------------------

2階 フォーラム

彫 刻	エミール＝アントワーン・ブールデル 自由 1916年
--------	-------------------------------

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫 刻	アルナルド・ボモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間 1984年
--------	--

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫 刻	コルネリス・ジットマン カリブの女 1983年
彫 刻	加藤昭男 大地 1986年
彫 刻	小田襄 円柱の構造 1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫 刻	今井瑾郎 大地 1992年
--------	------------------

12階アールスペースロビー

彫 刻	舟越保武 花を持つ少女1966年
--------	---------------------

テーマ展 『水野勝規 “ライトスケープ”』

会 期：2011年11月11日(金)～2012年1月22日(日)

会 場：展示室 6 ほか

主 催：愛知県美術館

機 材 協 力：大日本印刷

担当学芸員：中村史子

内容と結果：

1982年に三重県に生まれた水野勝規は、名古屋造形芸術大学美術学科総合造形コースを卒業の後、京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻を修了。名古屋造形芸術大学在学中から現在にいたるまで、たびたび東海地方で作品を発表しており、愛知県ともゆかりの深い作家である。

また、水野は自然景物を素材とした映像作品で、とりわけ注目を集めている。非現実的な美しさをたたえたその風景からは、水墨画など日本の風景描写の系譜および印象派などの欧米の風景画との共通点も多く感じられる。

公立美術館で初めての個展である本展では、展示室 6 にて新作「ライトスケープ」を発表した。照明をつけたまま映像を投影した本作品は、映像そのものの構造をも暴くような批評的視点だけでなく、些細な自然風景へのデリケートな眼差しが感じられ、映像作品にあまり接した経験のない鑑賞者にも好評を博した。詩情あふれる風景に多くの方が時間を忘れて魅入る様子がかいま見られた。

さらに、展示室 6 だけではなく前室 2 の庭園に面した出窓や、チケット売り場横のガラス壁面にも作品を展示した。刻々と移り変わる庭の景色や自然光が作品にその時々表情を与え、水野の作品の新たな一面を紹介することができた。また、芸術文化センターという空間の新たな魅力発掘にも貢献できた。

パンフレット：

B3判 両面 1 ページ (2,000部)

テキスト：中村史子「イメージと空間の編集」

デザイン：PANTALOON

発 行：愛知県美術館

関 連 事 業：

○作家レクチャー&ギャラリートーク

日 時：2011年12月3日(土) 午後2時～3時30分

会 場：アートスペース E F

講 師：水野勝規

司会進行：中村史子

参加者数：15名

関 連 記 事：

【新聞】

- ・清澤暁子「美術探訪482 水野勝規 ライトスケープ」『大阪日日新聞』2011年12月27日朝刊



演題「美術のたのしみ」

移動美術館

名 称：愛知県美術館・愛知県陶磁資料館 平成23年度 移動美術館
「生命の讃歌—自然をめぐる絵画と焼き物—」
会 期：平成23年10月1日(土)～23日(日) 20日間
会 場：新城文化会館 2階展示室
主 催：愛知県美術館・愛知県陶磁資料館・新城市・新城市教育委員会
担 当：藤島美菜
休 館 日：毎週月曜日(但し、10日[月・祝]は開館、翌11日[火]は閉館)
観 覧 料：無 料
出 品 点 数：愛知県美術館 19点(油彩画18点 立体1点)
愛知県陶磁資料館 17点(陶磁器)

入 場 者 数：2,256人(1日平均112人)

内容と結果：

愛知県美術館では、1994年から年に1度、県内各地で移動美術館を開催しており、新城市での開催は平成11年に続き2度目である。今回は、愛知県美術館と愛知県陶磁資料館の両館のコレクションから、愛知県ゆかりの作家を含む、近世から今日に至る海外作品を含む、洋画、立体、陶磁器を展示した。今回の愛知県美術館の出品作品には、木村定三コレクションを含んだことから、愛知県美術館のコレクションの新たな面を紹介すると同時に、展示会のテーマに沿って、愛知県陶磁資料館の作品と併せて展示し、様々なジャンルの作家たちによる、身近な自然の風景や事物の表現を紹介することができた。

関 連 事 業：

(1) 記念講演会

場 所：新城文化会館3階(301講習室)
日 時：午前11時から正午
講 師：村田真宏(愛知県美術館長)

展示作品：

愛知県美術館

作家名	作品名	制作年
1 黒田清輝	花と猫	1906年
2 大沢鉦一郎	大曾根風景	1919年
3 杉本健吉	冬瓜とわさび	1927-30年
4 北川民次	南国の花	1940年
5 長谷川利行	バンジー	1938年
6 矢橋六郎	牡丹	1946年
7 鬼頭鍋三郎	紫威花	1963年
8 須田剋太	花一輪	1988年
9 熊谷守一	蒲公英に母子草	1959年
10 田淵安一	七宝の園	1960年
11 桂ゆき	猫	1950年代
12 香月泰男	散歩	1953年
13 須田国太郎	樹下	1954年
14 三岸節子	魚とインカの壺	1952年
15 須田剋太	鯛	1985年
16 熊谷守一	白仔猫	1959年
17 山口薫	ボタン雪と騎手	1953年
18 脇田和	黄いろの鳥	1970年
19 柳原義達	風の中の鴉	1982年

愛知県陶磁資料館

名 称	産地・作者	時代・年代
1 染付山水文段重	平戸・三川内	江戸時代後期(19世紀)
2 赤絵金彩近江八景図鉢	湖東	江戸時代後期(19世紀)
3 志野蒲公英文向付	美濃	桃山時代(16世紀)
4 色絵秋草文瓶	京都・寶山	江戸時代中期(18世紀)
5 色絵雲錦手輪形瓶	犬山	江戸時代後期(19世紀)
6 染付菊文壺	京都・近藤悠三	昭和9年(1934)
7 黄瀬戸輪花鉢	名古屋・加藤唐九郎	昭和33年(1958)
8 亀形土製品	縄文土器	縄文時代晩期
9 鳥形瓶	須恵器	古墳時代後期(7世紀)
10 鉄釉狛犬	瀬戸	室町時代(15世紀)
11 志野象香炉	瀬戸・加藤善治(早梅亭)	江戸時代・天保7年(1836)
12 染付虫文水指	瀬戸・藤櫻堂(伝)	江戸時代後期(19世紀)
13 赤絵雲獣文皿	犬山	江戸時代後期(19世紀)
14 五彩魚文盤	中国・景德鎮	清時代前期(1662-1722)
15 志野鶴の絵茶碗	可児・荒川豊蔵	昭和40年(1965)
16 獅子	京都・八木一夫	昭和39年(1964)
17 朱夏午睡	京都・鈴木治	平成6年(1994)

参加人数：50人

(2) 展示説明会(ギャラリートーク)

場 所：新城文化会館展示室
日 時：10月15日(土) 午前11時／午後2時
講 師：藤島美菜(愛知県美術館主任学芸員)
小川裕紀(愛知県陶磁資料館学芸員)
参加人数：20人

(3) 学校団体鑑賞会

場 所：新城文化会館展示室
日 時：10月4日(火) 5日(水) 18日(火) 19日(水)
講 師：愛知県美術館学芸員、愛知県陶磁資料館学芸員
参加校・人数：9校・715人

(4) ロビーコンサート

場 所：新城文化会館展示室横ロビー
日 時：10月10日(月・祝) 午前11時／午後2時
10月15日(土) 正午／午後3時
10月22日(土) 午前11時／午後2時
出演者：新城ゆかりのアーティスト
参加数：203人

(5) 造形ワークショップ(台風により道路が通行止めになったため中止)

場 所：つくで手作り村・とんちん館
(新城市作手清岳字ナガラミ10番2)
日 時：10月9日(日) 午前10時～12時 サンドブラスト
午後1時～2時 万華鏡



サテライト展示（試行）

今年度は下記の2会場で展示を行った。

- 会場：田原市博物館

会期：平成23年9月10日(土)～11月6日(日)

「愛知県美術館サテライト展示 風景
一木村定三コレクションを中心に」日本画24点
- 会場：碧南市藤井達吉現代美術館

会期：平成23年11月26日(土)～平成24年4月1日(日)

「愛知県美術館所蔵作品によるサテライト展示
藤井達吉《梅百題》」日本画1件（102点）

愛知県陶磁資料館における長期展示

2008（平成20）年度からの覚書により、愛知県陶磁資料館常設展で10点（継続1点を含む）を公開した。

入場者数：21,624人

その他

東日本大震災の影響により、予定していた企画展が開催できなくなった島根県立美術館の要請に応じて、愛知県美術館の所蔵作品による展覧会を愛知県美術館と島根県立美術館の共催で行った。

会場：島根県立美術館

会期：平成23年9月17日(土)～11月17日(月)

「震災復興支援特別企画・愛知県美術館コレクション展 ふらんす物語ーピカソ、マティス、ロダン…そしてフランスを愛した日本人画家たち」
フランス近代絵画・彫刻及び日本近現代洋画・彫刻68点

出品リスト

	作家名	作品名	制作年
1	エドゥワール・グエイヤール	窓辺の女	1898年
2	パブロ・ピカソ	青い肩かけの女	1902年
3	アルベール・マルケ	ノートルダムの後陣	1902年
4	ラウル・デュフィ	サンタドレスの浜辺	1906年
5	アンリ・マティス	待つ	1921－22年
6	ピエール・ボナール	子供と猫	1906年頃
7	ピエール・ボナール	にぎやかな風景	1913年頃
8	藤田嗣治	青衣の少女	1925年
9	アメデオ・モディリアーニ	カリアティード	1911－13年

	作家名	作品名	制作年
10	ジャック・ヴィヨン	存在	1920年
11	ジャン・デュビュッフ	二人の脱走兵	1953年
12	ニコラ・ド・スタール	コンポジション	1948年
13	オーギュスト・ロダン	歩く人	1900年
14	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	ベネロープ	1908年
15	アレクサンダー・アーチベンコ	歩く女	1912年
16	ハンス(ジャン)・アルプ	森	1917年頃
17	高橋由一	不忍池	1880年頃
18	浅井忠	八王子付近の街	1887年
19	黒田清輝	暖き日	1897年
20	久米桂一郎	秋景	1892年
21	山下新太郎	白耳義の少女	1909年
22	坂本繁二郎	海岸の家	1915年
23	萩原守衛	女の胴	1907年 (1993年鋳造)
24	戸張孤雁	煌めく嫉妬	1924年 (1996年鋳造)
25	中原悌二郎	憩える女	1919年
26	安井曾太郎	婦人像	1912年頃
27	安井曾太郎	承德喇嘛廟	1938年
28	中村彝	静物	1915年頃
29	小出楢重	N婦人像	1918年
30	河野通勢	自画像	1917年
31	大沢鉦一郎	ジンベを着た少女	1920年
32	宮脇晴	自画像	1920年
33	満谷国四郎	裸婦	1930年
34	林悌衛	サント・ヴィクトワール	1925年
35	神原泰	生命の流動	1924年
36	古賀春江	夏山	1927年
37	里見勝蔵	裸婦	1928－29年頃
38	前田寛治	褐衣婦人像	1925年
39	木下孝則	読書	1931年
40	小島善太郎	房州風景	1930 (1927)年
41	長谷川利行	酒売場	1927年
42	林武	ノートルダム	1960年
43	児島善三郎	伊豆の海	1951年
44	中山巍	青背座婦	1927年
45	野口弥太郎	門	1931年頃
46	伊藤廉	肘をつく女	1929年
47	佐分真	裸婦	1930年頃
48	川口軌外	二婦	1939年
49	小林和作	薔薇咲くカプリ島	1928年
50	須田国太郎	夏	1941年
51	川島理一郎	伎場の図	1925年
52	岡鹿之助	窓	1949年
53	海老原喜之助	雪山と樵	1930年
54	岡田謙三	窓辺（ノクターン）	1948年
55	荻須高德	線路に面した家	1955年
56	高田博厚	女のトルソ	1937年
57	金山康喜	静物	1956年
58	三岸節子	らくがき	1973年
59	鳥海青児	うずくまる	1954年
60	村井正誠	ゴルフジュアンの船	1929年
61	矢橋六郎	武蔵野 冬 杉林	1941年
62	脇田和	断層の人と鳥	1960年
63	麻生三郎	胴体と頭と電球	1964年
64	難波田龍起	萌	1961年
65	猪熊弦一郎	マンハッタン A	1966年
66	オノサト トシノブ	三つの黒	1958年
67	桂ゆき	人と魚	1954年
68	木村忠太	ヌムールの運河	1967年

2 企画展

1992年度から2011年度までの企画展の入場者数（展覧会別）

年度	展覧会タイトル	会期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
92年度	フォーヴィスムと日本近代洋画	92/10/30	92/12/20	45	41,343	919
	近代の日本画－西洋との出会いと対話	93/01/05	93/02/11	33	26,166	793
	20世紀愛知の美術	93/02/19	93/03/21	27	11,585	429
	年度合計			105	79,094	753
93年度	パウル・クレーの芸術	93/04/02	93/05/23	45	103,239	2,294
	小川芋銭展	93/06/04	93/07/04	27	26,106	967
	現代の陶芸1950－1990展	93/07/16	93/08/22	33	13,153	399
	安田靉彦展	93/09/03	93/10/17	39	43,003	1,103
	リール市美術館所蔵－バロック・ロココの絵画	93/10/29	94/01/16	63	47,042	747
	戸張孤雁と大正期の彫刻	94/01/25	94/03/06	36	7,996	222
	色彩の宇宙 クブカ展	94/03/18	94/05/08	45	33,652	748
	年度合計			288	274,191	952
	累 計			393	353,285	899
94年度	杉本健吉展	94/05/14	94/06/02	17	19,568	1,151
	シカゴ美術館展 ー近代絵画の100年ー	94/06/10	94/07/24	38	89,204	2,348
	レジェ展	94/08/05	94/09/11	33	22,793	691
	聖なるかたち 後期ゴシックの木彫と板絵 ーアーヘン市立ズエルモント＝ルードヴィヒ美術館所蔵	94/09/23	94/11/03	37	27,976	756
	没後20年 香月泰男展	94/11/18	95/01/16	46	27,164	591
	アンドリュウ・ワイエス展ーアメリカの郷愁 心の風景を描く	95/02/03	95/04/02	51	120,177	2,356
	年度合計			222	306,882	1,382
	累 計			615	660,167	1,073
95年度	ウィーンのジャポニスム	95/04/11	95/05/14	30	27,803	927
	フランツ・ゲルチュ	95/05/26	95/07/02	33	22,392	679
	還流ー日韓現代美術展	95/07/14	95/09/03	45	25,072	557
	ウィンザー城王立図書館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図	95/09/15	95/10/15	27	68,439	2,535
	表現主義彫刻	95/10/27	96/01/15	64	12,428	194
	リチャード・マイヤーとフランク・ステラー建築と絵画の接点	96/02/02	96/04/07	57	16,599	291
	年度合計			256	172,733	675
	累 計			871	832,900	956
96年度	大英博物館所蔵イタリア素描展	96/04/19	96/05/26	33	30,973	939
	抽象表現主義展ーアメリカ黄金期の絵画	96/07/26	96/09/16	46	19,005	413
	富岡鉄斎展ー理想郷を語る	96/09/27	96/11/10	39	25,680	659
	北川民次展ー愛と人間をえがく	96/11/22	97/01/26	51	28,789	565
	カンディンスキーとミュンター 愛と創造の日々 1901-1917	97/02/08	97/03/16	32	22,891	715
	没後50年 ボナール展	97/03/28	97/05/18	45	54,094	1,202
	年度合計			246	181,432	738
	累 計			1,117	1,014,332	908
97年度	理智と幻想のシュルレアリスト 北脇 昇展	97/05/30	97/07/13	39	15,951	409
	モダンデザインの父 ウィリアム・モリス展	97/07/25	97/08/31	33	54,835	1,662
	20世紀美術の冒険 ーセザンヌ、ファン・ゴッホから現在までー アムステルダム市立美術館コレクション展	97/09/12	97/11/03	46	31,750	690
	イタリア美術 1945-1995 ー見えるものと見えないもの	97/11/14	98/01/15	48	16,739	349
	近代美術の100年ー愛知県美術館コレクションの精華ー	98/01/30	98/03/08	33	17,985	545
	川合玉堂展 ーめぐりゆく季節ー	98/03/20	98/05/05	41	70,936	1,730
	年度合計			240	208,196	868
	累 計			1,357	1,222,528	901
98年度	久野真・庄司達展ー鉄の絵画と布の彫刻ー	98/05/15	98/06/07	21	10,236	487
	ナイアガラを越えて… オルブライト＝ノックス美術館展 名画への誘い	98/06/19	98/08/02	39	66,342	1,701
	生誕100年記念 佐伯祐三展	98/08/16	98/09/27	37	39,972	1,080
	アルトゥング展	98/10/09	98/12/13	57	18,845	331
	没後50年 松本竣介展	99/01/08	99/02/21	39	24,551	630
	ブッサンとラファエロ 借用と創造の秘密	99/03/05	99/04/11	33	13,387	406
	年度合計			226	173,333	767
	累 計			1,583	1,395,861	882
99年度	魔法の庭…詩とかたちのフーガ「ファウスト・メロディ展」	99/04/23	99/06/13	45	13,614	303
	前田寛治の芸術 ー詩情と造形ー	99/07/02	99/08/22	45	14,851	330
	危機の時代と絵画 1930ー1945	98/09/03	98/10/17	39	8,379	215
	生誕100年 関根正二展	99/10/29	99/12/12	39	22,719	583
	セザンヌ展	00/01/05	00/03/12	59	171,060	2,899
	年度合計			227	230,623	1,016
	累 計			1,810	1,626,484	899
00年度	レンブラント・フェルメールとその時代 アムステルダム国立美術館所蔵 17世紀オランダ美術展	00/04/07	00/06/18	63	104,226	1,654
	田中恭吉展	00/07/15	00/08/27	38	22,788	600
	加納光於展	00/09/15	00/11/05	45	11,606	258
	アメリカン・ドリームの世紀展	00/11/23	01/01/28	52	25,390	488
	岸田劉生展	01/02/09	01/04/01	45	38,752	861
	年度合計			243	202,762	834
	累 計			2,053	1,829,246	891

年度	展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
01年度	メルツバッハー・コレクション展	01/04/13	01/05/27	39	47,245	1,211
	ロダンと日本	01/06/22	01/08/19	51	57,339	1,124
	バックミンスター・フラー展	01/09/14	01/11/04	45	10,962	244
	ボンベイ展	02/02/08	02/04/07	51	101,367	1,988
	年度合計			186	216,913	1,166
	累 計			2,239	2,046,159	914
02年度	開館10周年記念 大英博物館所蔵フランス素描展	02/04/26	02/06/30	57	25,638	450
	開館10周年記念 韓国の色と光	02/07/26	02/09/23	52	10,652	205
	開館10周年記念 ミロ展	02/10/04	02/12/01	51	83,084	1,629
	開館10周年記念 中西夏之展	02/12/20	03/02/23	51	14,525	285
	年度合計			211	133,899	635
	累 計			2,450	2,180,058	890
03年度	菱田春草展	03/04/11	03/05/18	33	53,578	1,624
	戸谷成雄 森の襲の行方	03/06/06	03/07/27	45	12,934	287
	レオン・スピリアル展	03/08/05	03/09/23	43	15,674	365
	空海と高野山	03/10/10	03/11/24	40	109,612	2,740
	中村彝の全貌展	04/01/06	04/02/29	48	20,004	417
	年度合計			209	211,802	1,013
	累 計			2,659	2,391,860	900
04年度	ベン・ニコルソン展	04/04/09	04/05/23	39	10,855	278
	野見山暁治展	04/06/04	04/07/19	40	7,310	183
	国吉康雄展	04/08/06	04/09/26	45	24,702	549
	木村定三コレクションによる熊谷守一展	04/10/08	04/12/05	51	17,555	344
	自然をめぐる千年の旅	05/03/11	05/05/08	51	63,052	1,236
	年度合計			226	123,474	546
	累 計			2,885	2,515,334	872
05年度	アジアの潜在力 ―海と島が育んだ美術―	05/05/24	05/07/10	42	8,109	193
	ゴッホ美術館、クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品による ゴッホ展 ―孤高の画家の原風景―	05/07/26	05/09/25	54	423,745	7,847
	生誕100年記念 吉原治良展	05/12/16	06/02/26	57	12,651	222
	江戸絵画 ―小世界を愉しむ― 木村定三コレクションの近世絵画	06/03/10	06/05/07	63	14,260	226
	年度合計			216	458,765	2,124
	累 計			3,101	2,974,099	959
06年度	愛知曼陀羅―東松照明の原風景―	06/06/02	06/07/23	45	18,181	404
	愉しき「家」	06/08/04	06/10/01	51	13,831	271
	ベルシャ文明展	06/10/13	06/12/10	51	62,194	1,219
	ルソーの見た夢／ルソーに見る夢	06/12/20	07/02/12	42	35,389	842
	年度合計			189	129,595	685
	累 計			3,290	3,103,694	943
07年度	若冲と江戸絵画展	07/04/13	07/06/10	52	92,852	1,786
	20世紀美術の森	07/06/29	07/08/26	51	13,964	274
	サイクルとリサイクル	07/09/07	07/11/04	51	11,595	227
	ロートレック展	07/11/13	08/01/14	49	50,042	1,021
	年度合計			261	168,453	830
	累 計			3,551	3,272,147	921
08年度	杉本健吉展	08/04/04	08/06/01	51	16,721	328
	誌上のユートピア ―近代日本の絵画と美術雑誌 1889～1915―	08/06/14	08/07/27	38	9,545	251
	ライオネル・ファイニンガー	08/10/17	08/12/23	58	12,693	209
	アンドリュース・ワイエス展 創造への道程	09/01/04	09/03/08	55	62,245	1,132
	年度合計			202	101,204	501
	累 計			3,753	3,373,351	898
09年度	アヴェンギャルド・チャイナ 〈中国当代美術〉二十年	09/04/03	09/05/24	45	11,051	245
	生活と芸術 アーツ&クラフツ展 ウィリアム・モリスから民芸まで	09/06/12	09/08/16	57	35,338	619
	あいちトリエンナーレ2010 プレイベント 放課後のはらっぱ 横田伸也とその教え子たち	09/08/28	09/10/25	51	13,702	268
	日本の自画像 写真が描く戦後 1945―1964	09/11/06	09/12/13	33	10,580	320
	大ローマ展	10/01/06	10/03/22	65	128,496	1,976
	年度合計			251	199,167	793
	累 計			4,004	3,572,518	892
10年度	小川芋銭と珊瑚会の画家たち	10/04/09	10/05/23	39	8,607	220
	あいちトリエンナーレ2010	10/08/21	10/10/31	72	300,878	4,179
	レンバツハハウス美術館所蔵 カンディンスキーと青騎士	11/02/15	11/04/17	54	22,647	419
	年度合計			165	332,132	2,013
	累 計			4,169	3,904,650	937
11年度	麻生三郎	11/04/29	11/06/12	39	9,532	244
	棟方志功 祈りと旅	11/07/09	11/09/04	50	51,966	1,039
	島田章三展	11/09/16	11/10/30	39	10,881	279
	生誕100年 ジャクソン・ポロック展	11/11/11	12/01/22	58	42,531	733
	年度合計			186	114,910	618
	累 計			4,355	4,019,560	923

2011（平成23）年度企画展開催状況

「麻生三郎」展

会 期：2011年 4月29日（金・祝）～ 6月12日（日） [39日間]
主 催：愛知県美術館、東京国立近代美術館、日本経済新聞社、テレビ愛知
後 援：愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会
出 品 協 力：神奈川県立近代美術館
担 当：深山孝彰
休 館 日：毎週月曜日
観 覧 料：一般900(700)円 高校・大学生600(400)円
中学生以下無料

*（ ）内は前売り及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：134点（油彩73点、素描59点、立体2点）

入 場 者 数：9,532人（一日平均244人）

展覧会巡回先：東京国立近代美術館

2010年11月 9日～12月19日（36日間）

10,303人(256)

京都国立近代美術館

2011年 1月 5日～ 2月20日（41日間）

9,558人(233)

内容と結果：

戦中・戦後を通じて日本の洋画を牽引した画家の一人である麻生三郎（1913～2000）の回顧展。東京生まれの麻生は、個人の生命や自由が脅かされ美術表現への圧力が増した戦時下の1943年に巖谷や松本竣介らと「新人画会」を結成し、画家としての自己主張を貫いた。戦後には復興や高度成長の陰で重い空気に抗して立つ人々を描いた《赤い空》連作など、社会の現実を肌で感じながら人間存在の核心に迫った。初期の前衛的な作品から、妻や子を命の灯火のように描いた戦中の写実的な作品、

混沌とした画面で人体と空間とがせめぎ合う1960年以降の作品まで、表現は大きく変貌させながらも麻生の眼差しは常に、人がこの世に存在することのかけがえなさに注がれていた。麻生没後10年余、本格的な回顧展として約15年ぶりとなる本展では、初公開となる初期作品を含む油彩・素描・立体合わせて約130点で彼の創作の全体像を振り返るとともに、その今日的な意味を考察した。2010年秋の東京会場開会時には「表面的なキレイさ、からいらしさがもてはやされる現在だからこそ麻生の重厚な作品を」という意味づけが示されていたが、東日本大震災後の愛知会場では、麻生の真摯な追求が前置き無しに観客の心に響き浸透していたように思われる。

本展は東京国立近代美術館を主、愛知県美術館を副として準備が進められ、京都を合わせた3会場を巡回したが、愛知会場ではポスターやちらしのメイン作品を替え、鑑賞ガイドと10枚の作品解説パネル、終章説明パネル1枚を書き下ろした。3会場を観た熱心な麻生ファンから愛知の展示を賞賛され、終章として設定した「人間像の再生に向けて」という解釈は作家遺族や記念講演会講師などからも評価された。入場者数は目標の2万6千人を大きく下回ったが、東京会場の10,303人（目標1万2千人）や京都会場の9,558人（目標1万人）と比べ遜色はなく、一日平均では京都を上回った。

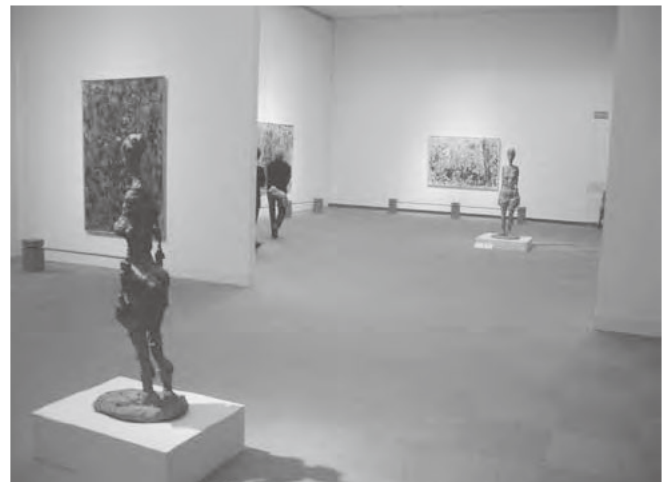
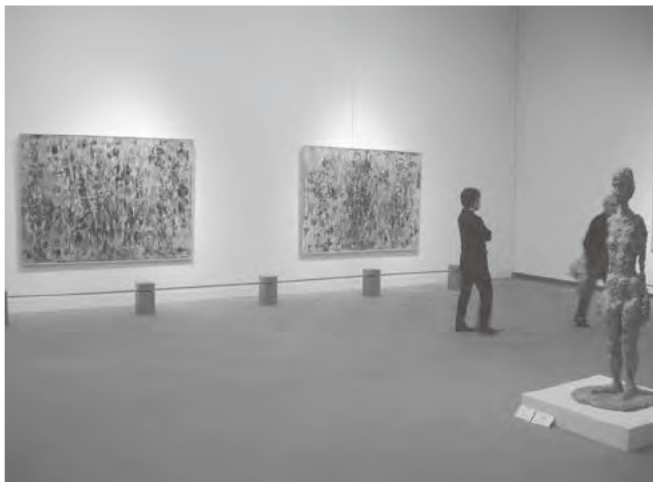
展覧会カタログ：

A4判変形（28.0×22.5cm） 208ページ

編 集：大谷省吾、都築千重子 執筆：大谷省吾、松本透、
牧野研一郎

年 譜：深山孝彰 文献目録：都築千重子

制 作：コギト 印刷：凸版印刷株式会社 発行：
東京国立近代美術館



関連事業：

○記念講演会

5月14日(土) 13:30~15:00

講師：原田 光 (岩手県立美術館 館長)

演題：「赤い空の下で」 127名

○ギャラリー・トーク (学芸員による展示説明会)

5月21日(土) 11:00~11:40 講師：深山孝彰 25名

6月4日(土) 11:00~11:40 講師：深山孝彰 30名

○美術館友の会会員のための特別鑑賞会

5月12日(木) 10:00~12:00 講師：深山孝彰 20名

17:30~19:30 講師：深山孝彰 24名

○先生方との鑑賞学習交流会

5月14日(土) 11:00~11:40 講師：深山孝彰 33名

関連記事：

【新聞】

- ・山脇佐江子 「麻生三郎展 独自の様式、一貫して「人間」描く」

『日本経済新聞』(名古屋版) 2011年5月12日
夕刊

- ・(無記名) 「麻生三郎 画業60年たどる 愛知県美術館で回顧展」

『信濃毎日新聞』2011年5月27日

- ・宮川まどか 「麻生三郎展 生きる意味を問う」

『中日新聞』2011年5月31日

【雑誌その他定期刊行物】

- ・深山 孝彰 「人間存在の尊さを描き続けた麻生三郎」

『AAC』68号 2011年3月

- ・小林 克敏 「麻生三郎—じっくり向き合うと見えてくる芸術—」

『空中回廊』32号 2011年4月

- ・土崎 正彦 「絵に棲む日々 麻生三郎展」『REAR』no.26
2011年8月



「棟方志功 祈りと旅」展

会 期：平成23年7月9日(土)～9月4日(日) [50日間]
主 催：愛知県美術館、朝日新聞、メ〜テレ
後 援：愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会
協 力：(財)棟方版画館、(株)安川電機
担 当：森美樹、副田一穂、平井啓修
休 館 日：毎週月曜日(ただし、7月18日[月・祝]は開館)、
7月19日(火)
観 覧 料：一般1,000(800)円、高大生700(500)円
中学生以下無料
* () 内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：60件

入 場 者 数：51,966人(一日平均1,039人)

展覧会巡回先：山口県立萩美術館・浦上記念館

2010年6月12日～8月15日(17,030人)

大丸ミュージアムKYOTO(大丸京都店)

2010年9月15日～9月27日(22,457人)

静岡市美術館

2011年2月11日～3月27日(20,685人)

香川県立ミュージアム

2011年4月9日～5月15日(9,100人)

福岡県立美術館

2011年5月26日～7月3日(23,419人)

内容と結果：

震災の影響で計画していた展覧会が延期となり、その代わりとして急遽開催された展覧会であった。既に日本各地の美術館を巡回した後であったが、もともと計画していた展覧会の共催者であった朝日新聞社の協力のもと、棟方志功が東北出身ということもあり、東北復興支援特別企画として開催した。

展覧会の内容は、タイトルにもあるとおり「祈りと旅」をテー

マに構成されている。初期から晩年の主要な作品を網羅しているが、中でも「花矢の柵」「大世界の柵」などスケールの大きな作品を展示空間の壁面一杯を使って展示したのは効果的であった。また版画以外にも肉筆画や本・雑誌、油絵や書、陶芸など、多彩な分野の創作活動も示した。

関連事業は東北支援企画を意識し、事業の実施に際し募金をお願いしたが、多くの方に協力をいただくことができた。ポスター、ポストカードの収益も義援金にあてた。

夏休みの時期ということもあり、家族連れが目立った。目標者数を上回る来場者となり、展覧会の運営についても良い結果を得ることができた。



展覧会カタログ：

A4変形（29.6×23.0cm） 157ページ

編 集：朝日新聞社 企画事業部

制 作：掛谷信穂（株式会社トスカ）

発 行：朝日新聞社

関 連 事 業：

(1)記念講演会（参加人数 154名）

場 所：アートスペース A（愛知芸術文化センター12階）

日 時：平成23年7月23日（土）午後1時30分～午後3時

講 師：武田公平（棟方志功記念館 館長補佐）

演 題：「棟方志功と青森」

(2)ギャラリー・トーク（学芸員による展示説明会）

第1回（参加人数 42名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：平成23年 7月16日(土) 午前11時～午前11時40分

講 師：平井啓修（学芸員）

第2回（参加人数 38名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：平成23年 7月29日(金)

午後 6 時30分～午後 7 時10分

講 師：副田一穂（学芸員）

第3回（参加人数 55名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：平成23年 8月 6日(土) 午前11時～午前11時40分

講 師：森 美樹（学芸員）

第4回（参加人数 85名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：平成23年 8月20日(土) 午前11時～午前11時40分

講 師：森 美樹（学芸員）

(3)津軽三味線チャリティーライブ

出演者：K U N I - K E N

場 所：愛知芸術文化センター2階フォーラム I

日 時：平成23年7月16日（土）

午前11時45分～午後12時15分（参加人数180名）

午後 2 時30分～午後 3 時（参加人数200名）

担 当：美術館 ：古田、森、副田、平井、中西

芸文センター：高木、松田

事業団 ：林

朝日新聞社 ：田頭、岡本、鷺見、大河内

メ〜テレ ：宮崎、大池

美術館友の会ボランティア：朝、昼各7名程度

(4)友の会会員のための特別鑑賞会

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：平成23年7月14日（木）

午前の部 午前10時～午前12時00分

（参加人数 23名）

担 当：森 美樹（学芸員）

午後の部 午後5時30分～午後7時30分

（参加人数 26名）

担 当：平井啓修（学芸員）

関 連 記 事：

- ・無記名 「復興支援企画で棟方志功展」
『朝日新聞』2011年5月30日（夕刊）
- ・無記名 「東北復興支援『棟方志功 祈りと旅』」展
『朝日新聞』2011年6月3日
- ・磯貝 誠 「板画 いのちの軌跡」
『朝日新聞』 2011年 7 月 4 日
- ・岡本洋太郎 「棟方志功に脚光再び」
『朝日新聞』2011年 7 月 5 日
- ・岡本洋太郎 「棟方志功展 きょう開幕」
『朝日新聞』2011年 7 月 9 日
- ・無記名 「復興支援旨在に作品堪能して」
『朝日新聞』2011年 7 月 9 日
- ・無記名 「被災地への祈りこめ演奏」
『朝日新聞』2011年 7 月10日
- ・岡本洋太郎 「津軽三味線で義援ライブ」
『朝日新聞』2011年 7 月17日
- ・無記名 「志功の魅力 エピソード紹介」
『朝日新聞』2011年 7 月14日
- ・西 正之 「奔放に 繊細に」『朝日新聞』2011年7月21日
- ・浅野和生（愛知教育大教授）
「土くさいエネルギー」
『中日新聞』2011年 7 月26日
- ・増田愛子 「渦巻く黒白の詩心」
『朝日新聞』2011年 7 月30日
- ・岡本洋一郎 「私が見たMUNAKATA①②」
山本容子 片岡鶴太郎
『朝日新聞』2011年 8 月 9 日
- ・山田泰生 「全長26メートルの傑作『大世界の柵』も」
『毎日新聞』2011年 8 月 9 日
- ・岡本洋太郎 「人間賛歌 6 の楽しみ」
『朝日新聞』2011年 8 月11日
- ・増田愛子 「私が見たMUNAKATA③」
名古屋市ボストン美術館 馬場俊吉さん
『朝日新聞』2011年 8 月12日

- ・渡辺 周 「私が見たMUNAKATA④ 矢野きよ実さん」
2011年 8月18日
- ・森 美樹 「星座の花嫁板画集」
『朝日新聞』2011年 8月22日（夕刊）
- ・平井 啓修 「宇宙頌」『朝日新聞』2011年 8月23日（夕刊）
- ・無記名 「豪ビクトリア州総督が鑑賞」
『朝日新聞』2011年 8月25日
- ・副田 一穂 「柳緑花紅頌」
『朝日新聞』2011年 8月25日（夕刊）
- ・山脇佐江子 「圧倒的な美の力」
『日本経済新聞』2011年 8月25日
- ・副田 一穂 「鍵板画冊」
『朝日新聞』2011年 8月26日（夕刊）
- ・平井 啓修 「ホイットマン詩集抜粋の柵」
『朝日新聞』2011年 8月29日（夕刊）
- ・森 美樹 「花矢の柵」
『朝日新聞』2011年 8月30日（夕刊）
- ・平井 啓修 「歓喜自板像」
『朝日新聞』2011年 8月31日（夕刊）
- ・森 美樹 「飛神の柵」
『朝日新聞』2011年 9月 1日（夕刊）
- ・平井 啓修 「胡須母寿花頌」
『朝日新聞』2011年 9月 2日（夕刊）
- ・無記名 「棟方志功展明日閉幕」
『朝日新聞』2011年 9月 3日
- ・無記名 「本物見せたい 家族連れも満喫」
『朝日新聞』2011年 9月 4日
- ・無記名 「棟方志功展 入場5万人越え閉幕」
『朝日新聞』2011年 9月 5日
- ・無記名 「大村知事 盛況に謝意」
『朝日新聞』2011年 9月 4日



「島田章三展」

会 期：2011年 9月16日(金)～10月30日(日) [39日間]
主 催：愛知県美術館、中日新聞社
後 援：愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会
協 力：メナード美術館
担 当：塩津青夏、高橋秀治
休 館 日：毎週月曜日 [ただし 9月19日(月・祝)、10月10日(月・祝)は開館]、9月20日(火)、10月11日(火)
観 覧 料：一般 当日 1,000円 前売・団体 800円
高校・大学生 当日 700円 前売・団体 500円
中学生以下 無料
出 品 点 数：114点
入 場 者 数：10,881人 (1日平均279 人)
展覧会巡回先：横須賀美術館 2011年11月19日(土)～12月25日(日)
(7,004人)

内容と結果：

〈かたちびと〉と呼ばれる独自の人物表現によって知られる画家島田章三（1933年生れ）の初期から現在までの仕事を、油彩画、版画など全114点の作品により大規模に紹介する回顧展として開催した。

展示内容としては、画壇へのデビュー作《ノイローゼ》や、安井賞を受賞する《母と子のスペース》など、この画家の画歴をたどる上で欠かすことのできない代表作を網羅的に展示しながら、版画や陶器の作品を含めて彼の仕事を多面的に紹介した。また、作家本人へのインタビューを行い、作品についてのコメントを得て、それをカタログで作品解説として付し、展示室内ではパネルで紹介するなどしたことで、作品についての理解が深まったとの好評を得た。さらに関連事業として、作家本人による講演会も開催したほか、作家の在館日をウェブサイト上で告知して交流の機会を設けるなど、来場者が作家の存在を身近

に感じることの出来るものとした。

島田は1966年に愛知県立芸術大学に赴任以後この地で活動을續けており、同大学の学長や愛知芸術文化センターの総長を務めるなど、この地方における社会的貢献度も高い画家である。そのように地元に縁のある画家の展覧会を充実したかたちで開催できた意義は大きい。

展覧会カタログ：

A4判変形 (29×22.5cm) 208ページ
編 集：愛知県美術館、横須賀美術館、中日新聞社
制 作：印象社
発 行：愛知県美術館／中日新聞社
本 文：島田章三〈かたちびと〉へのあゆみ 高橋秀治
島田章三さんについて 石渡尚
島田章三の横須賀 日野原清水
愛知の島田章三 塩津青夏

図 版

島田章三年譜：日野原清水、長谷川恵編

主要参考文献：日野原清水、長谷川恵編

出品目録

関連事業：

(1)記念講演会（参加人数200名）

場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

日 時：平成23年 9月17日（土）午後1時半から午後3時

講 師：島田章三氏

聞き手：高橋 秀治（愛知県美術館副館長）

演 題：「〈かたちびと〉を語る」

(2)ギャラリートーク（学芸員による展示説明会）

第1回（参加人数30名）

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）



日 時：平成23年9月24日(土) 午前11時から11時40分

講 師：高橋 秀治(愛知県美術館副館長)

第2回(参加人数20名)

場 所：美術館展示室(愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成23年10月8日(土) 午前11時から11時40分

講 師：塩津 青夏(学芸員)

第3回(参加人数30名)

場 所：美術館展示室(愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成23年10月14日(金) 午後6時半から7時10分

講 師：高橋 秀治(愛知県美術館副館長)

第4回(参加人数30名)

場 所：美術館展示室(愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成23年10月29日(土) 午前11時から11時40分

講 師：塩津 青夏(学芸員)

(3)友の会会員のための特別鑑賞会

場 所：アートスペースEF(愛知芸術文化センター12階)

日 時：平成24年9月22日(木)

《昼の部》午前10時から12時(参加人数27人)

講師：高橋 秀治(愛知県美術館副館長)

《夜の部》午後17時30分から19時30分(参加人数18人)

講師：高橋 秀治(愛知県美術館副館長)、
塩津 青夏(学芸員)

関連記事：

【新聞】

- ・宮川まどか 「絵に立ち向かい、攻め込む」
『中日新聞』2011年9月10日
- ・(無記名) 「日常の情景をかたち」
『中日新聞』2011年9月14日
- ・那須 政治 「『場』の中の人を追求」
『中日新聞』2011年9月19日
- ・塩津 青夏 「島田章三展(上)『炎』」
『中日新聞』2011年9月21日
- ・高橋 秀治 「島田章三展(中)『ひかりさすかたち』」
『中日新聞』2011年9月22日
- ・塩津 青夏 「島田章三展(下)『東北に捧げる十字花』」
『中日新聞』2011年9月23日
- ・堺屋 太一 「宇宙と歴史 感じる名作——島田章三展に寄せて」
『中日新聞(夕刊)』2011年10月14日
- ・増田 愛子 「静かな画面『かたち』への情熱漂う」
『朝日新聞(夕刊)』2011年10月15日
- ・(無記名) 「名古屋で島田章三展 最新作オークション
震災復興支援へ寄付」
『中日新聞(夕刊)』2011年10月17日

【テレビ】

- ・(NHK名古屋)

「さらさらサラダーさらさらカルチャー芸術の秋！」

美術鑑賞入門 画家：島田章三さん」2011年10月18日(火)

【雑誌その他定期刊行物】

- ・高橋 秀治 「自叙伝としての展覧会」
『新美術新聞』No.1258 (2011年9月)
- ・宮崎 玲子 「この企画展は画家の『自画像』」
『空中回廊』第33号 (2011年9月)
- ・本江 邦夫 「プレビュー 島田章三展」
『美術の窓』No.336 (2011年9月)
- ・(無記名) 「島田章三展」『ギャラリー』第317号
(2011年9月)
- ・宝木 範義 「今を生きる画家・島田章三の呼吸」
『月刊美術』No.433 (2011年10月)
- ・佐々木 豊 「島田章三展—日常が『かたち』になる時—」
『美じょん新報』第145号 (2011年10月)
- ・城戸 わこ 「島田章三展」『中部経済界』Vol.48
(2011年10月)
- ・島田章三、岡田邦彦、日比英一
「なごや三重唱 出合いに乾杯！」
『月刊なごや』No.349 (2011年10月)
- ・松原 清 「島田章三展」『全日本美術』No.707
(2011年11月)
- ・(無記名) 「名古屋発 平松礼二展&島田章三展」
『月刊美術』No.434 (2011年11月)



「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」

会 期：2011年11月11日(金)～2012年1月22日(日)

[58日間]

主 催：愛知県美術館、読売新聞社、中京テレビ放送

後 援：イラン大使館、名古屋アメリカンセンター、愛知県・
岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会

特 別 助 成：アメリカ大使館

協 賛：テラ・アメリカ美術基金、光村印刷

協 力：日本航空、ルフトハンザ カーゴAG、ルフトハン
ザ ドイツ航空会社

担 当：大島徹也、中西園子、塩津青夏

休 館 日：毎週月曜日（ただし1月9日〔月・祝〕は開館）、
12月28日(水)～1月2日(月)、1月10日(火)

観 覧 料：一般1,400(1,200)円、高校・大学生1,000(800)円、
中学生以下無料

* () 内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：64点

入 場 者 数：42,531人（一日平均733人）

展覧会巡回先：東京国立近代美術館：平成24(2012)年2月10日(金)～
5月6日(日)(125,961人)

内容と結果：

本展は、現代美術の出発点となったジャクソン・ポロック（アメリカ、1912～56年）の生誕100年記念展および日本初回顧展として企画したものである。国内外から集めた初期から晩期に至るポロックの絵画、彫刻、素描、版画など全64点の作品によって、この画家の仕事の全体像を紹介した。

ポロックの最盛期の傑作《インディアンレッドの地の壁画》（テヘラン現代美術館蔵）、ポロックの作品の中で60年前に日本で最初に展示され、日本の美術界に大きな衝撃を与えた《ナンバー7, 1950》（ニューヨーク近代美術館蔵）と《ナンバー11,

1949》（インディアナ大学美術館蔵）、ポロックのアトリエの原寸大再現などは、本展の目玉として大きな注目を集めた。

関連事業としては、通常の記念講演会、スライドレクチャー、ギャラリートークに加えて、映画上映会、パフォーマンス、シンポジウム、ワークショップなども実施し、多くの参加者を得た。

本展の総入場者数は目標の半分弱に留まったが、日本初のポロック回顧展、さらには世界で唯一の生誕100年記念ポロック回顧展として、日本国内のみならず海外の専門家やマスコミからも極めて高い評価を受けた。

展覧会カタログ：

A4判変形（30.5cm×21.0cm） 220ページ

編 集＝愛知県美術館、東京国立近代美術館、読売新聞東
京本社文化事業部

デザイン＝川添英昭（美術出版社デザインセンター）

制 作＝名塚雅絵（美術出版社デザインセンター）

発 行＝読売新聞東京本社

関連事業：

(1)上映会 「ポロックー2人だけのアトリエ」

(参加人数 812名)

場 所：愛知芸術文化センター 芸術劇場大ホール

日 時：平成23年11月1日(火) 午後6時30分～午後9時

(2)関連小展示 I 「ジャクソン・ポロックとポップ・カルチャー」

場 所：愛知芸術文化センター アートスペースX前通路展
示ケース

期 間：平成23年11月1日(火)～平成24年1月22日(日)

(3)嶋本昭三パフォーマンス (参加人数 278名)

場 所：愛知芸術文化センター B2フォーラム



日 時：平成23年11月11日(金)午後3時00分～午後3時30分

(4)記念講演会 (参加人数 128名)

場 所：アートスペースA (愛知芸術文化センター12階)

日 時：平成23年11月12日(土) 午後1時30分～午後3時

講 師：ヘレン・A・ハリソン (ポロック=クラズナーハウス・アンド・スタディセンター、ディレクター)

演 題：「ジャクソン・ポロック—その芸術と人生と遺産」

共 催：名古屋アメリカンセンター

(5)ギャラリー・トーク (学芸員による展示説明会)

第1回 (参加人数 54名)

場 所：愛知県美術館展示室 (愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成23年11月26日(土) 午前11時～午前11時40分

講 師：大島徹也 (学芸員)

第2回 (参加人数 52名)

場 所：愛知県美術館展示室 (愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成23年12月3日(土) 午前11時～午前11時40分

講 師：塩津青夏 (学芸員)

第3回 (参加人数 28名)

場 所：愛知県美術館展示室 (愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成23年12月10日(土) 午前11時～午前11時40分

講 師：塩津青夏 (学芸員)

第4回 (参加人数 30名)

場 所：愛知県美術館展示室 (愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成23年12月17日(土) 午前11時～午前11時40分

講 師：中西園子 (学芸員)

第5回 (参加人数 62名)

場 所：愛知県美術館展示室 (愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成24年1月6日(金) 午後6時30分～午後7時10分

講 師：大島徹也 (学芸員)

第6回 (参加人数 72名)

場 所：愛知県美術館展示室 (愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成24年1月13日(金) 午後6時30分～午後7時10分

講 師：中西園子 (学芸員)

(6)企画者によるレクチャー

第1回 (参加人数 45名)

場 所：アートスペースEF

日 時：平成23年11月27日(日) 午後2時～午後3時

講 師：大島徹也 (学芸員)

演 題：「初期：自己を探し求めて」

第2回 (参加人数 52名)

場 所：アートスペースEF

日 時：平成23年12月4日(日) 午後2時～午後3時



講 師：大島徹也 (学芸員)

演 題：「形成期：モダンアートへの参入」

第3回 (参加人数 65名)

場 所：アートスペースEF

日 時：平成23年12月11日(日) 午後2時～午後3時

講 師：大島徹也 (学芸員)

演 題：「成熟期：革新の時」

第4回 (参加人数 47名)

場 所：アートスペースEF

日 時：平成23年12月18日(日) 午後2時～午後3時

講 師：大島徹也 (学芸員)

演 題：「後期・晩期：苦悩の中で」

(7)ワークショップ 「ドリッピングに挑戦しよう」

(参加人数 30名)

場 所：アートラボあいち2階

日 時：平成23年12月3日(土) 午後1時30分～午後4時

共 催：はち

協 力：あいちトリエンナーレ実行委員会

(8)友の会会員のための特別鑑賞会

場 所：愛知県美術館展示室 (愛知芸術文化センター10階)

日 時：平成23年11月17日(木)

午前の部 午前10時～午前11時30分

(参加人数 32名)

担 当：大島徹也(学芸員)

午後の部 午後6時～午後7時30分

(参加人数 43名)

担 当：大島徹也(学芸員)

(9)関連小展示 II 「ヒストリー・オブ・ザ・ストーン・ローゼズ」

場 所：愛知県美術館ロビー(愛知芸術文化センター10階)

期 間：平成23年12月6日(火)～平成24年1月22日(日)

(10)シンポジウム

「ジャクソン・ポロックがいま私たちに語りかけること」

(参加人数 260名)

場 所：アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)

日 時：平成24年1月7日(土) 午後1時30分～午後4時

(途中15分休憩)

パネリスト：

藤枝晃雄(美術批評家、武蔵野美術大学名誉教授)

小西信之(美術批評家、愛知県立芸術大学准教授)

小池隆英(画家)

岸本吉弘(画家、神戸大学大学院准教授)

モデレーター：

大島徹也(本展企画者、学芸員)

関 連 記 事：

- ・大島 徹也 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『アート・ボイルド』3号(2010/11年冬)。
- ・(無記名) 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『読売新聞』2011年1月1日朝刊。
- ・大島 徹也 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『美術の窓』329号(2011年2月)。
- ・(無記名) 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『月刊美術』426号(2011年3月)。
- ・(無記名) 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『美術手帖』951号(2011年5月)。
- ・大島 徹也 「アートを変えた男——生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『AAC』69号(2011年7月)。
- ・(無記名) 「どれどれどーれ——日本初のポロック展」
『読売新聞』2011年7月25日朝刊。
- ・(無記名) 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『読売新聞』2011年8月1日朝刊。
- ・(無記名) 「ポロック 日本初の回顧展」

『読売新聞』2011年8月29日朝刊。

- ・渡部 真也 「アートを変えた男——ジャクソン・ポロック〈上〉」 『読売新聞』2011年9月14日朝刊。
- ・渡部 真也 「アートを変えた男——ジャクソン・ポロック〈中〉」 『読売新聞』2011年9月15日朝刊。
- ・渡部 真也 「アートを変えた男——ジャクソン・ポロック〈下〉」 『読売新聞』2011年9月16日朝刊。
- ・大島 徹也 「ジャクソン・ポロック——ピカソを超えて」
『AAC』70号(2011年9月)。
- ・中西 園子 「次回展覧会 生誕100年 ジャクソン・ポロック展」 『空中回廊』33号(2011年9月)。
- ・(無記名) 「『ポロック展』記念の上映会」
『読売新聞』2011年9月26日朝刊。
- ・(無記名) 「アートの鬼才ジャクソン・ポロック 回顧展前に無料映画会」
『読売新聞』2011年9月28日朝刊。
- ・中林 和雄 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『美術の窓』336号(2011年9月)。
- ・(無記名) 「愛知県美術館『生誕100年 ジャクソン・ポロック展』」 『アート・ボイルド』6号(2011年秋)。
- ・杉野 秀樹 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展1——『無題』」(1946年、富山県立近代美術館蔵)
『読売新聞』2011年10月5日朝刊。
- ・高階 秀爾 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展2——『カット・アウト』」(1948-58年、大原美術館蔵)
『読売新聞』2011年10月6日朝刊。
- ・(無記名) 「美術品政府補償制度 第1回対象の展覧会を発表『ブラド美術館所蔵 ゴヤ 光と影』(国立西洋美術館)と『生誕100年 ジャクソン・ポロック』(愛知県美、東近美)ともに読売新聞社主催」 『新美術新聞』2011年10月11日。
- ・難波 英夫 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展3——『ナンバー9, 1950』」(1950年、財団法人セゾン現代美術館蔵)
『読売新聞』2011年10月13日朝刊。
- ・福武総一郎 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展4——『黒と白の連続』」(1950年頃、ベネッセホールディングス蔵)
『読売新聞』2011年10月15日朝刊。
- ・村上 博哉 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展5——『ナンバー8, 1951 黒い流れ』」(1951年、国立西洋美術館蔵)
『読売新聞』2011年10月18日朝刊。
- ・新畑 泰秀 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展6——『ナンバー2, 1951』」(1951年、石橋財団ブリヂ

- ストン美術館蔵)」
『読売新聞』2011年10月20日朝刊。
- ・鈴木 尊志 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展 7——『緑、黒、黄褐色のコンポジション』」(1951年、DIC川村記念美術館蔵)」
『読売新聞』2011年10月21日朝刊。
 - ・安田 篤生 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展 8——『黒、白、茶』」(1952年、原美術館蔵)」
『読売新聞』2011年10月23日朝刊。
 - ・栗田 秀法 「西洋美術が好き。ありがたや泰西名画展」
『B!e』32号(2011年10月26日)。
 - ・(無記名) 「ポロック展記念パフォーマンス」
『読売新聞』2011年10月31日朝刊。
 - ・(無記名) 「ポロック展PR 12駅に大型看板」
『読売新聞』2011年11月1日朝刊。
 - ・(無記名) 「ポロック展の魅力 映画・解説で学ぶ」
『読売新聞』2011年11月2日朝刊。
 - ・副田 一穂 「『ブルー—白鯨』 1943年頃 大原美術館」
『読売新聞』2011年11月2日朝刊。
 - ・(無記名) 「200億円の傑作 あす愛知へ」
『読売新聞』2011年11月3日朝刊。
 - ・(無記名) 「ついに実現！ 前代未聞のポロック展」
『芸術新潮』62巻11号(2011年11月)。
 - ・(無記名) 「今月の展覧会 生誕100年 ジャクソン・ポロック展」『mom』359号(2011年11月)。
 - ・(無記名) 「美術 Art ひしめく高額絵画に世界が齒軋り!? あいち発&日本初のポロック回顧展」
『ぴあ×starcats』(東海版)2011年11月号。
 - ・(無記名) 「200億円最高傑作搬入 ポロック展」
『読売新聞』2011年11月5日朝刊。
 - ・(無記名) 「評価額200億円、ポロックの傑作を開梱」
『読売新聞』2011年11月5日朝刊。
 - ・(無記名) 「広報あいち——『生誕100年 ジャクソン・ポロック展』の開催」
『読売新聞』2011年11月6日朝刊。
 - ・(無記名) 「イランで門外不出のポロック作品、初めて日本へ」『読売新聞』2011年11月7日朝刊。
 - ・(無記名) 「ポロック 人物像知って」
『読売新聞』2011年11月7日朝刊。
 - ・(無記名) 「イラン、対日関係重視 ポロックの傑作出展認可」『読売新聞』2011年11月8日朝刊。
 - ・五十嵐太郎+神田真秋
「生誕100年 ジャクソン・ポロック展 大回顧展見どころ対談」
『読売新聞』2011年11月9日朝刊。
 - ・(無記名) 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展 興味深める資料や映像」
『読売新聞』2011年11月9日朝刊。
 - ・中西 園子 「『無題』 1938-41年頃 ポロック=クラブナー財団」『読売新聞』2011年11月9日朝刊。
 - ・(無記名) 「あすからポロック展」
『読売新聞』2011年11月10日朝刊。
 - ・(無記名) 「出番待つポロック作品 回顧展あす開幕」
『読売新聞』2011年11月10日朝刊。
 - ・大島 徹也 「伝説の芸術家 日本初の回顧展」
『読売新聞』2011年11月10日朝刊
(2012年2月9日朝刊再掲載)。
 - ・嶋本 昭三 「『生誕100年 ジャクソン・ポロック展』に寄せて」『新美術新聞』2011年11月11日
 - ・Helen Harrison, "Jackson in Japan," *Sag Harbor Express* (Sag Harbor, N.Y.), 11 November 2011.
 - ・(無記名) 「ポロック展きょう開幕」
『読売新聞』2011年11月11日朝刊。
 - ・(無記名) 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展 招待客ら楽しそうに」
『読売新聞』2011年11月11日朝刊。
 - ・(無記名) 「ポロック展開幕 傑作64点公開」
『読売新聞』2011年11月12日朝刊。
 - ・(無記名) 「人生観たどる展示 アトリエ技法体感」
『読売新聞』2011年11月12日朝刊。
 - ・(無記名) 「ポロック風 型破りアート」
『読売新聞』2011年11月12日朝刊。
 - ・(無記名) 「画風や技法、年代順に解説 米の研究者が講演」『読売新聞』2011年11月13日朝刊。
 - ・(無記名) 「愛知県美術館で『ジャクソン・ポロック展』——現代アートの革命児の全容紹介」
『サカエ経済新聞』2011年11月14日。
 - ・大島 徹也 「『誕生』 1941年頃 テート」
『読売新聞』2011年11月15日朝刊。
 - ・窪田 直子 「『線の画家』体感 『生誕100年 ジャクソン・ポロック展』」
『日本経済新聞』2011年11月16日朝刊。
 - ・(無記名) 「石井竜也さん音声ガイド『人物像浮かぶ』好評」『読売新聞』2011年11月16日朝刊。
 - ・三田 晴夫 「アートの風 11月——ポロック回顧展」
『毎日新聞』2011年11月16日夕刊。
 - ・塩津 青夏 「『西へ』 1934-35年 スミソニアン・アメリカ美術館」『読売新聞』2011年11月17日朝刊。
 - ・(無記名) 「故パーレビ国王が愛でたいわくの『ポロック』初公開」『週刊新潮』2011年11月17日。

- ・(無記名) 「私もロック」
『読売新聞』2011年11月19日朝刊。
- ・(無記名) 「授業で活用を 教員40人学習会 ジャクソン・ロック展」
『読売新聞』2011年11月20日朝刊。
- ・宮川まどか 「美術館 熱意の自主企画展」
『中日新聞』2011年11月22日朝刊。
- ・(無記名) 「子供の感性で作品に触れて 小中学生に案内券」 『読売新聞』2011年11月23日朝刊。
- ・(無記名) 「今月の展覧会 生誕100年 ジャクソン・ロック展」
『ギャラリー』319号 (2011年11月)。
- ・塩津 青夏 「『トーテム・ペンシル』 1939-42年頃 ポロック=クラズナーハウス・アンド・スタディセンター」 『読売新聞』2011年11月24日朝刊。
- ・坂下 芳樹 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展 愛知県美術館」 『産経新聞』2011年11月25日夕刊。
- ・(無記名) 「巨匠の神髄に触れる——生誕100年 ジャクソン・ポロック展 (愛知県美術館)」
『岐阜新聞』2011年11月25日朝刊。
- ・(無記名) 「ポロック流『楽しい』 昭和区園児30人、自由に描く」 『読売新聞』2011年11月25日朝刊。
- ・中西 園子 「『トーテム・レッスン2』 1945年 オーストラリア国立美術館」
『読売新聞』2011年11月25日朝刊。
- ・(無記名) 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展 学芸員が解説」 『読売新聞』2011年11月27日朝刊。
- ・(無記名) 「憧れのポロック 思い出を曲に」
『読売新聞』2011年11月28日朝刊。
- ・(無記名) 「愛知芸術文化センターの外壁がキャンバスに——『ジャクソン・ポロック展』イベントで」
『サカエ経済新聞』2011年11月29日。
- ・大島 徹也 「『無題』 1950年 シュツットガルト州立美術館」 『読売新聞』2011年11月29日朝刊。
- ・中西 園子 「『ナンバー7, 1950』 1950年 ニューヨーク近代美術館」 『読売新聞』2011年11月30日朝刊。
- ・中西 園子 「ポロックが自宅に飾っていた壊れたイカリ
ポロック=クラズナーハウス・アンド・スタディセンター」 『読売新聞』2011年12月2日朝刊。
- ・(無記名) 「ピカソを超えた男——日本初の回顧展」
『月刊なごや』351号 (2011年12月)。
- ・増田 愛子 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展 愛知県美術館」 『朝日新聞』2011年12月3日夕刊。
- ・(無記名) 「豪快に『ドリッピング』 親子ら絵の具たらし描く」 『読売新聞』2011年12月4日朝刊。
- ・木村 未来 「ポロック即興 実は緻密」
『読売新聞』2011年12月6日夕刊。
- ・(無記名) 「美博なう——ランチでもNYな気分を 愛知県美術館」 『朝日新聞』2011年12月7日夕刊。
- ・(無記名) 「石井竜也さん『あこがれの存在』」
『読売新聞』2011年12月10日朝刊。
- ・城戸 わこ 「中京美術界——生誕百年 ジャクソン・ポロック展」『中部経済界』48巻12号 (2011年12月)。
- ・倉橋 章 「教えてポロック<1> 自由に見て感じて」
『読売新聞』2011年12月11日朝刊。
- ・倉橋 章 「教えてポロック<2> 床の上 歩いて描く」
『読売新聞』2011年12月13日朝刊。
- ・坂下 芳樹 「現代美術開拓した足跡——生誕100年 ジャクソン・ポロック展 愛知県美術館」
『SANKEI EXPRESS』1817号
(2011年12月13日)。
- ・倉橋 章 「教えてポロック<3> 史上最高額で取引」
『読売新聞』2011年12月15日朝刊。
- ・倉橋 章 「教えてポロック<4> 100年に一度の回顧展」 『読売新聞』2011年12月16日朝刊。
- ・(無記名) 「最近美術館行ってる? アート王子とジャクソン・ポロック展を巡ろう」
『シティリビング』2011年12月16日。
- ・(無記名) 「今週の美術——20世紀アメリカに現れた"現代アート"の革命児"ジャクソン・ポロック、その表現追求の軌跡をたどる」
『ステラ』1629号 (2011年12月16日)。
- ・山田 泰生 「回顧展『生誕100年 ポロック展』開催 名古屋の県美術館」
『毎日新聞』2011年12月16日朝刊。
- ・(無記名) 「影響を受けた英のロックバンド レコードジャケット12枚展示」
『読売新聞』2011年12月18日朝刊。
- ・西 正之 「ツイッターでお宝『発掘』 愛知でジャクソン・ポロック展」
『朝日新聞』2011年12月20日朝刊。
- ・倉橋 章 「教えてポロック<5> 常識覆したヒーロー」
『読売新聞』2011年12月20日朝刊。
- ・(無記名) 「1月3日の先着100名にポスター 県美術館」
『読売新聞』2011年12月21日朝刊。
- ・(無記名) 「ポロックのシンボ」
『読売新聞』2011年12月26日朝刊。
- ・(無記名) 「冬休みに入り、親子連れ増える」
『読売新聞』2011年12月27日朝刊。
- ・(無記名) 「入場2万人突破」

- ・『読売新聞』2011年12月28日朝刊。
- ・北野 健治 「"いま"と"いつか"が重なるところ」
『ミテ』117号（2011年冬）。
- ・（無記名） 「ポロック展はもうご覧になりましたか？」
『アート・ボイルド』7号（2011/12年冬）。
- ・（無記名） 「広報あいち——『生誕100年 ジャクソン・ポロック展』」
『中日新聞』2012年1月1日朝刊。
- ・（無記名） 「1950年 衝撃の抽象」
『読売新聞』2012年1月1日朝刊。
- ・（無記名） 「ポロック展特別開館 愛知県美術館 来場者最多1252人記録」
『読売新聞』2012年1月4日朝刊。
- ・神田 真秋 「ポロックと私④ 『伝説的展覧会』を予感」
『読売新聞』2012年1月7日朝刊。
- ・（無記名） 「『ジャズに似た即興性』 4氏招きシンボ 作品への理解深める」
『読売新聞』2012年1月8日朝刊。
- ・神田 真秋 「ポロックと私⑤ 2本の映画で魅力発見」
『読売新聞』2012年1月9日朝刊。
- ・（無記名） 「好評の解説会 13日に最終」
『読売新聞』2012年1月11日朝刊。
- ・神田 真秋 「ポロックと私⑥ 現代に『後継者』多数」
『読売新聞』2012年1月12日朝刊。
- ・（無記名） 「『ピカソ超えた男』 最高傑作 ポロック展」
『読売新聞』2012年1月12日朝刊。
- ・（無記名） 「ポロック展 入場3万人」
『読売新聞』2012年1月14日朝刊。
- ・山内宏泰＋飯窪敏彦
「美食美術館32 愛知県美術館／ウルフギャング・バック」
『文藝春秋』90巻1号（2012年1月）。
- ・（無記名） 「ポロックの波瀾万丈人生」
『日経おとなのOFF』127号（2012年1月）。
- ・邱馨慧 「狂放不羈的生命之舞」
『藝術收藏＋設計』（台北，2012年1月）。
- ・（無記名） 「Theater & Art 現代美術の出発点とも言えるジャクソン・ポロック回顧展」
『KELLY』294号（2012年1月）。
- ・石井 竜也 「私の1点——『無題』 1950年 シュツットガルト州立美術館」
『読売新聞』2012年1月17日朝刊。
- ・本多小百合 「私の1点——『カット・アウト』 1948-58年 大原美術館」
『読売新聞』2012年1月18日朝刊。
- ・ハリー・サリバン
「私の1点——『インディアンレッドの地の壁画』 1950年 テヘラン現代美術館」
『読売新聞』2012年1月19日朝刊。
- ・天野 一夫 「美術——ジャクソン・ポロック展」
『日本経済新聞』2012年1月19日夕刊。
- ・我妻 絵美 「私の1点——『ナンバー7, 1950』 1950年 ニューヨーク近代美術館」
『読売新聞』2012年1月20日朝刊。
- ・瀧 悌三 「評壇——生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『美じょん新報』148号（2012年1月20日）。
- ・（無記名） 「『歴史的価値』『神髄感じる』 あす閉幕 美術関係者ら評価」
『読売新聞』2012年1月21日朝刊。
- ・（無記名） 「ポロック展 あすまで」
『読売新聞』2012年1月21日朝刊。
- ・（無記名） 「ポロック展 行列で閉幕」
『読売新聞』2012年1月23日朝刊。
- ・（無記名） 「『多くの人が興味』 県美術館・大島学芸員」
『読売新聞』2012年1月23日朝刊。
- ・村田 眞宏 「『ジャクソン・ポロック』開催に思うこと」
『美連協ニュース』113号（2012年2月）。
- ・結城 昌子 「今月の美術——それは新しいアートに挑む壮絶なリングだった」
『家庭画報』55巻3号（2012年3月）。
- ・尾崎信一郎 「Reading Jackson Pollock, Literally」
『現代の眼』592号（2012年2月）。
- ・中西 園子 「日本初の回顧展という役割」
『現代の眼』592号（2012年2月）。
- ・大島 徹也 「ポロックの見方教えます」
『芸術新潮』63巻3号（2012年3月）。
- ・太田 祐司 「治療としての制作——生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『美術手帖』64巻964号（2012年3月）。
- ・深谷克典、山田 諭
「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」
『アートペーパー』88号（2012年冬）。
- ・藤枝 晃雄 「ポロック展に寄せて——『網の目』に宇宙・自然の姿」
『読売新聞』2012年3月15日朝刊。
- ・尾崎信一郎 「繰り返すポロック」『REAR』27号（2012年3月）。
- ・五十嵐太郎 「絵画そのものが大地となった現代美術の革命——ジャクソン・ポロック展」
『嗜み』14号（2012年4月）。
- ・渡辺 亨 「渡辺亨の音の映る風景 Scene-16」

『CDジャーナル』56巻5号（2012年5月）。

【テレビ】

- ・[NHK] 「日曜美術館——アクションから生まれた革命
～ジャクソン・ポロック～」2011年12月11日
(2011年12月18日再放送)。
- ・[BS日テレ] 「ぶらぶら美術・博物館——愛知県美術館『生
誕100年 ジャクソン・ポロック展』～ピカソ
を超えた男・ポロック、日本初の回顧展～」
2012年1月10日（2012年3月6日再放送）。
- ・[NHK BSプレミアム]
「極上 美の饗宴——飛び散る線の謎～ポロ
ックの"自然"」2012年3月28日（2012年4月3日
再放送、4月4日再々放送）。

【ラジオ】

- ・[尾張東部放送 れでいおさんきゅ]
「情報発信！愛知県」2011年11月8日。
- ・[東海ラジオ]
「天野良春"リアル"——ものづくりの美」
2011年11月12日。
- ・[エフエム愛知]
「サンデーエクスプレス——Oldies Honey
Flamingo」2011年12月4日。
- ・[ZIP-FM] 「MOTION & EMOTION——TUNE ON」
2011年12月18日。

3 教育普及

美術館では、社会の多様な要望に応えるため、教育普及事業の充実に努めてきた。講演会や作品解説会については、館内で行うギャラリートークなどのほか、県内市町村へ出向いて講演会などを開催する県政お届け講座の一環として「出前講座」を実施した。また、教育現場との連携では、「鑑賞学習交流会」のほか「鑑賞学習ワーキンググループ（研究会）」を開催した。子供対象の教育プログラムでは、夏休み子ども鑑賞会として小中学生向けには「コレコレコレクション」を開催し、高校生向けには「なりきり学芸員Part 2 シルシルシコウ」を開催した。また同時期に、幼児向けの鑑賞ワークショップ「ひかりのなかへ」を開催した。友の会との連携では、会員向け特別鑑賞会などを開いた一方、友の会からは、企画展の広報や所蔵作品の保存備品作成作業、モニター協力などの支援を受けた。

また、今年度は文化庁の助成を受け、教員らの協力のもと鑑賞学習補助ツール「あいパック」を作成し、県内の小・中学校に配布した。

出版・発行

企画展に関するもの

○「麻生三郎」展



カタログ

A4判変形（28.0×22.5cm） 208ページ

編集 大谷省吾、都築千重子

制作 コギト

発行 東京国立近代美術館

「麻生三郎の絵画」

大谷省吾

「麻生三郎のリアリズム絵画」

松本透

「麻生三郎—初期作品に関するノート」

牧野研一郎

I 闇の中で光を見つめる

II 赤い空の下で

III 内と外の軋み

年譜 深山孝彰 編

文献目録 都築千重子 編

出品目録 大谷省吾・都築千重子 編

鑑賞ガイド A3二つ折り

○「棟方志功 祈りと旅」展



カタログ

A4変形（29.6×23.0cm） 157ページ

編集 朝日新聞社 企画事業部

制作 掛谷信穂（株式会社トスカ）

発行 朝日新聞社

「棟方志功の祈り 信仰と美について」

藤村忠範

第一部 祈り

第二部 津軽

「棟方志功と旅—南海道への旅を中心に」

窪美西嘉子

第三部 旅と文学

「棟方志功と柳宗悦—初期作品に見る影響」

青木良平

第四部 文人画家の多彩な芸業

作品解説

棟方志功年譜

参考文献

鑑賞ガイド タブロイド版二つ折り

○「島田章三展」



「島田章三展」

カタログ

A4判変形 (29×22.5cm) 208ページ

編集 愛知県美術館、横須賀美術館、中日新聞社

制作 印象社

発行 愛知県美術館／中日新聞社

「島田章三〈かたちびと〉へのあゆみ」 高橋秀治

「島田章三さんについて」 石渡尚

「島田章三の横須賀」 日野原清水

「愛知の島田章三」 塩津青夏

島田章三年譜

主要参考文献

出品目録

鑑賞ガイド A3二つ折り

○「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」



「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」

カタログ

A4判変形 (30.5cm×21.0cm) 220ページ

編集 愛知県美術館、東京国立近代美術館、読売新聞東京本社
文化事業部

制作 名塚雅絵 (美術出版社デザインセンター)

発行 読売新聞東京本社

「生きることと制作はひとつ」

ヘレン・A・ハリソン (中西園子 訳)

「形式のポリフォニー—ジャクソン・ポロックのボード絵画」

大島徹也

Chapter 1 1930-1941年 初期 自己を探し求めて

Chapter 2 1942-1946年 形成期 モダンアートへの参入

Chapter 3 1947-1950年 成熟期 革新の時

Chapter 4 1951-1956年 後期・晩期 苦悩の中で

「ジャクソン・ポロックと具体美術協会」 大島徹也

「ジャクソン・ポロック、Good Art」 中林和雄

「ポロックのことば」 大島徹也 訳

年譜

個展歴

主要参考文献

鑑賞ガイド A3二つ折り

所蔵作品展に関するもの

〇鑑賞ガイド

「うっし、うつくし」展 A3二つ折り

〇作品リスト	第1期	展示作品リスト	A3二つ折り
	第2期	展示作品リスト	A3二つ折り
	第3期	展示作品リスト	A3二つ折り
	第4期	展示作品リスト	A3二つ折り
	第5期	展示作品リスト	A3二つ折り

〇テーマ展

・「水野勝則規 "ライトスケープ"」パンフレット

B3判 両面1ページ

テキスト：中村史子「イメージと空間の編集」

デザイン：PANTALOON

発行：愛知県美術館



〇鑑賞カード

ジョルジュ・ミンヌ	《聖遺物箱を担ぐ少年》	1897年
エルンスト・バルラッハ	《忘我》	1911-12年
岸田劉生	《鵠沼小景》	1922-23年
顰 光	《自画像》	1934年
安井曾太郎	《承德喇嘛廟》	1938年
杉本健吉	《新・平家物語》	1976年
舟越桂	《肩で眠る月》	1996年
三沢厚彦	《Animal 2008-1》	2008年

〇木村定三コレクション関係

・鑑賞カード

青木蒲堂	《養老山真景図》	19世紀
田中訥言	《雪月花図》	19世紀後半（文化末—文政初）
村瀬太乙	《馬上狐図》	1873（明治6）年 紙本墨画
鈴木其一	《林檎図》	江戸時代 1855（安政2）年

平福百穂	《秋風吟》	1931（昭和6）年頃
森田恒友	《大利根の河原》	1920（大正後期—昭和初期）年代
日高昌克	《磯》	1954（昭和29）年
長谷川利行	《伊豆大島》	1937（昭和12）年
香月泰男	《巴里風景》	1956（昭和31）年
南 桂子	《2羽の鳥》	1966（昭和41）年
竹内栖鳳	《春暖》	1930（昭和5）年
土田麦僊	《揚巻》	1935（昭和10）年頃
英一蝶	《王子喬図》	江戸前期—中期
村上華岳	《青柿》	1923年 絹本着色
上杉謙信	《織田信長宛上杉謙信書状》	

桃山時代 1571（元龜2）年

舞楽面 《陵王面》 鎌倉時代 13-14世紀



・パンフレット

「扇面画」	A4判変型四つ折
「復古大和絵」	A4判変型四つ折
「山本梅逸と青木蒲堂」	A4判三つ折



・研究紀要

『木村定三コレクション研究紀要2011年度』 B5判 56頁

・研究報告書

『木村定三コレクション研究報告書 3』 B5判 79頁

・作品目録

『木村定三コレクション 作品目録 I』 B5判175頁

・ビデオ

『木村定三コレクション

コレクションをまもり伝える美術館』

○鑑賞学習補助ツール

愛知県美術館鑑賞学習補助ツール「あいパック」(B2ポスター2種、「アートカード」、「あいパックガイド」、「鑑賞学習CD-ROM」、「素材ボックス」)



講演会・シンポジウム・ワークショップ等、関連イベント

企画展に関するもの

○「麻生三郎」展

記念講演会

5月14日(土) 13:30~15:00 127名

講師：原田光氏(岩手県立美術館 館長)

演題：「赤い空の下で」



「麻生三郎」展
記念講演会

○「棟方志功 祈りと旅」展

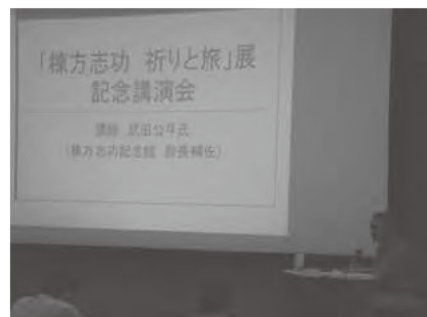
記念講演会

7月23日(土) 13:30~15:00

154名

講師：武田公平氏(棟方志功記念館 館長補佐)

演題：「棟方志功と青森」



「棟方志功
祈りと旅」展
記念講演会

○「島田章三展」

記念講演会

9月17日(土) 13:30~15:00

200名

講師：島田章三氏

聞き手：高橋秀治(愛知県美術館 副館長)

演題：「〈かたちびと〉を語る」



「島田章三展」
記念講演会

○「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」

記念講演会

11月12日(土) 13:30~15:00

128名

講師：ヘレン・A・ハリソン氏(ポロック＝クラズナー
ハウス・アンド・スタディセンター ディレクター)

演題：「ジャクソン・ポロックーその芸術と人生と遺産」



「生誕100年
ジャクソン・ポロック展」
記念講演会

シンポジウム

2012年1月7日(土) 13:30~16:00 260名
 パネリスト：藤枝晃雄(美術批評家、武蔵野大学名誉教授)、
 小西信之(美術批評家、愛知県立芸術大学准教授)、
 小池隆英(画家)、岸本吉弘(画家、神戸大学大学院准教授)
 モデレーター：大島徹也(愛知県美術館 学芸員)
 テーマ：「ジャクソン・ポロックがいま私たちに語りかけること」



ポロック展
シンポジウム

連続レクチャー

延べ209名

11月27日(日) 14:00~15:00 「初期：自己を探し求めて」
 12月4日(日) 14:00~15:00
 「形成期：モダンアートへの参入」
 12月11日(日) 14:00~15:00 「成熟期：革新の時」
 12月18日(日) 14:00~15:00 「後期・晩期：苦悩の中で」
 講師 大島徹也(愛知県美術館 学芸員)

所蔵作品展に関するもの

○「うつし、うつくし(所蔵作品による)」展

記念講演会

2012年2月19日(土) 13:30~15:00 67名
 講師：栗田秀法氏(名古屋芸術大学 准教授)
 演題：「“うつし”が創造的になるとき ―絵画の起源伝説から現代まで―」

○「学芸員のおすすめの一点」(展示作品説明会)

2月26日(日) モーリス・ルイス《デルタ・ミュー》
 塩津青夏 10名
 3月4日(日) 竹村京《There and Now, kimi sini tamou koto nakare》
 中村史子 7名
 3月7日(水) 川瀬巴水の木版画 高橋秀治 10名
 3月8日(木) パウル・クレア《蛾の踊り》
 中西園子 3名
 3月11日(日) ロバート・ラウシェンバーグ《コース》
 大島徹也 10名
 3月15日(木) アメデオ・モディリアーニ《カリアティード》

森 美樹 3名
 藤島美菜 4名

3月17日(土) 上田薫《なま玉子 G》

○テーマ展 水野勝規レクチャー&ギャラリートーク

12月3日(土) 14:00~15:30
 司会進行：中村史子(学芸員) 15名

○出前講座(県政お届け講座)

5月19日(木) 10:30~12:00 37名
 場所：瀬戸市役所
 演題：「愛知県美術館出前講座～美術の楽しみ方」
 講師：古田浩俊(企画業務課長)

○所蔵作品展コレクショントーク

6月4日(土) 11:00~12:00 中村史子(学芸員) 19名
 9月2日(金) 18:00~19:00 副田一穂(学芸員) 16名
 10月30日(日) 11:00~12:00 鯨井秀伸(美術課長) 18名
 12月17日(土) 11:00~12:00 平井啓修(学芸員) 17名



コレクション
トーク(鯨井)

各種教育プログラム

○鑑賞学習交流会

(1) 5月14日 「麻生三郎」展解説
 深山孝彰(愛知県美術館 主任学芸員)

「美の精髓」展鑑賞プログラム報告

①「この絵だいすき！」(小学生対象回)
 長谷川 厚一郎 先生(一宮市立大和東小学校)
 中山 知恵子 先生(美浜町立上野間小学校)



鑑賞学習
交流会

- ②「アートでタイムトリップ」(中学生対象回)
角谷 俊人 先生(幡豆郡一色町立一色中学校)
- ③「なりきり!学芸員」(高校生対象回)
青島 やよい 先生(名古屋市立菊里高等学校)

33名

- (2)7月16日 「棟方志功 祈りと旅」展解説
副田一穂(愛知県美術館 学芸員)

「高校生による「麻生三郎展」鑑賞会報告」
高橋 承一 先生(愛知県立岩倉総合高校)

27名

- (3)10月1日 「島田章三展」解説
塩津青夏(愛知県美術館 学芸員)

- 「夏休み子ども鑑賞会報告」
①小・中学生対象回「コレコレ コレクション」
中山 知恵子 先生(三和小学校)
小林 克敏 先生(青山中学校)
角谷 俊人 先生(一色中学校)

- ②高校生対象回「なりきり!学芸員Part2」
青島 やよい 先生(菊里高等学校)
高橋 承一 先生(岩倉総合高等学校)

- ③幼児対象回「ひかりのなかへ」
藤島 美菜(愛知県美術館 主任学芸員)

31名

- (4)11月19日 「生誕100年 ジャクソン・ポロック展」解説
塩津青夏(愛知県美術館 学芸員)

「アートバック(仮称)」報告
藤島 美菜(愛知県美術館 主任学芸員)

34名

- (5)2月26日 「うっし、うつくし」展解説
深山孝彰(愛知県美術館 主任学芸員)

「鑑賞学習教材『あいバック』活用のための研修会」
藤島美菜(愛知県美術館 主任学芸員)
制作にご協力いただいた先生方
学生アシスタント

カタログ配布

- ・第9期 平成22年度(2010)
『表現主義彫刻』『富岡鉄斎一理想郷を語る』
『ペルシア文明展』

- ・第10期 平成23年度(2011)
『愛知曼陀羅一東松照明の原風景』『愉しき家』
『自然をめぐる千年の旅』

81名

○鑑賞学習ワーキンググループ

- (1)5月14日 「今年度の活動予定報告」、「ギャラリー・トーク
者の選出」 21名

- (2)6月11日 「所蔵作品展ギャラリー・トーク」
青島やよい先生、岡島叔子先生、鈴木義信先生 13名

- (3)7月16日 「第2回ワーキンググループでのギャラリー・トー
クのまとめ」 19名

- (4)9月3日 「アートツールについて考える」 14名

- (5)10月1日 「アートツールについて考える」 17名

- (6)11月19日 「アートツールについて考える」 13名

- (7)12月17日 「アートバック(仮称)の研修会開催方法につい
て」 23名

- (8)1月14日 「宮崎県立美術館見学の報告」、「あいバック」検
討会 15名

- (9)2月4日 「あいバック」についてのパネルディスカッション 14名

- (10)3月3日 来年度のワーキンググループの活動について 7名

幼児、児童、生徒を対象とした鑑賞教育の実施

○「コレコレ コレクション」(鑑賞会)

実施日時・参加者数

8月6日(土)	14:00~15:30	小学3~4年	7名
8月7日(日)	10:30~12:00	小学1~2年	9名
8月7日(日)	14:00~15:30	小学5~6年	28名
8月20日(土)	10:30~12:00	小学1~2年	3名
8月21日(日)	14:00~15:30	中学1~3年	31名
8月23日(火)	10:30~12:00	小学3~4年	8名
8月23日(火)	14:00~15:30	小学5~6年	13名

講師：鑑賞学習ワーキンググループ教員有志、学生アシ
スタント、藤島美菜(主任学芸員)、森美樹(学芸員)、
塩津青夏(学芸員)、中西園子(学芸員)



コレコレ
コレクション

○「なりきり！学芸員」（鑑賞ワークショップ）

実施日時・対象・参加者数

8月2日(火) 10:30～15:30 高校生 27名

講師：鑑賞学習ワーキンググループ教員有志、学生アシスタント、藤島美菜（主任学芸員）、塩津青夏（学芸員）



なりきり！学芸員

○「ひかりのなかへ」（鑑賞ワークショップ）

実施日時・対象・参加者数

8月3日(水) 10:00～12:00 幼児 17名

講師：村上誠（名古屋柳城短期大学 教授）、藤島美菜（主任学芸員）、塩津青夏（学芸員）、学生アシスタント



ひかりのなかへ

視覚に障がいのある人を対象とした鑑賞会

○視覚に障がいのある方への鑑賞プログラム

所蔵作品展に際して、名古屋YWCA美術鑑賞ガイドボランティアの協力のもと、彫刻の触察のほか、平成23年度に新たに制作した立体コピーと点字シート、さらに初めての試みとして、フォンターナ《空間概念》の触れるレプリカと、シーガル作品に倣って着衣人物から型どりした石膏の脚部を用いながら鑑賞した。

実施日時・対象・参加者数

10月13日(木) 午前9名 午後4名

10月15日(土) 午前7名 午後10名

回数：4回 参加人数：延べ30名

○盲学校生徒の鑑賞会

愛知県立名古屋盲学校中等部の社会見学授業として、「視覚に障がいのある方へのプログラム」に準じた鑑賞会を行った。

10月19日(木) 生徒（中学1～3年生）19名、引率15名

各種団体鑑賞への対応

	小	中	高	大	専門	養護	一般	合計
総人数	874	570	567	791	44	8	265	3,119
総件数	16	29	8	14	1	1	13	82
学芸対応件数	16	27	6	13	1	1	11	75
学芸対応人数	874	528	535	684	44	8	235	2,908

博物館実習生の受け入れ

2011年度は10名の学生を受け入れた。

愛知淑徳大学・文学部、愛知県立芸術大学・美術学部、立命館大学・文学部、京都造形大学・美術学部、愛知教育大学・現代学芸課程、筑波大学大学院・人間総合科学研究科

実習カリキュラム

7月25日（月）

自己紹介、ガイダンス、課題の説明 森学芸員
愛知県美術館の沿革・組織・職掌の概要 高橋副館長
美術館を取り巻く状況・課題・コレクション形成 高橋副館長
施設見学 森学芸員
展覧会の成り立ち

古田企画業務課長

7月26日（火）

アートドキュメンテーション 鯨井美術課長
実習1：作品の取り扱い（軸・卷子） 鯨井美術課長、森学芸員
実習2：屋外展示作品の保存について 長屋主任学芸員
実習3：作品の調査作成

長屋主任学芸員、藤島主任学芸員、森学芸員
鑑賞教育 学校との連携について 藤島主任学芸員

7月27日（水）

作品移動・準備、展示作業 深山主任学芸員、藤島主任学芸員、森学芸員
実習4：作品の展示と照明 深山主任学芸員、藤島主任学芸員、森学芸員
作品の保存と修復 長屋主任学芸員

7月28日(木)

地震対策 文化財レスキュー

美術館の広報について

所蔵作品の管理、展示、収集

課題発表準備

長屋主任学芸員

副田学芸員

森学芸員

森学芸員

7月29日(金)

課題発表(各自15分)

森学芸員



麻生三郎展友の会特別鑑賞会

美術館研修生の受入れ指導

平成23年度は、名古屋大学の大学院生1名を受入れ、1週間に1日を基本として長期的な研修を行った。

- ・研修期間 2011年6月1日～2012年3月31日
- ・研修内容 藤井達吉コレクション・木村定三コレクションの資料整備、企画展に関わる実務、教育普及事業の実務

学生アシスタントの受け入れ

県内の大学生13名を受け入れ、夏季の子ども向け教育普及事業の補助を中心とした実務の研修を行った。

- ・受け入れ大学：愛知教育大学、愛知県立芸術大学、名古屋大学、名古屋造形大学、名古屋芸術大学

美術館友の会との協力

(1)友の会 特別鑑賞会

2011年5月12日(木) 昼	麻生三郎展	
	深山孝彰主任学芸員	20名
2011年5月12日(木) 夜	深山孝彰主任学芸員	24名
2011年7月14日(木) 昼	棟方志功展	
	森美樹学芸員	23名
2011年7月14日(木) 夜	平井啓修学芸員	26名
2011年9月22日(木) 昼	島田章三展	
	高橋副館長	27名
2011年9月22日(木) 夜	高橋副館長・塩津学芸員	18名
2011年11月17日(木) 昼	ジャクソン・ポロック展	
	大島徹也学芸員	23名
2011年11月17日(木) 夜	大島徹也学芸員	35名
2012年2月9日(木) 昼	うっし・うつくし展	
	深山孝彰主任学芸員	22名
2012年2月9日(木) 夜	深山孝彰主任学芸員	27名

(2)講演、講座

2011年5月28日(土)

「絵の中の鳥、自然の中の鳥」 村田真宏美術館長 38名

2011年7月10日(日)

「石巻文化センターでの文化財レスキュー」

大島徹也学芸員

「今回の活動を通じて想定東海東南海地震を考えた時」

長屋菜津子主任学芸員 34名

2011年11月26日(土)

「アメリカの現代美術」

塩津青夏学芸員 35名

2011年2月12日(日)

「ゴシックの大聖堂：比類なき建築空間をめざして」

大同大学教授 佐藤達生 43名

(3)会報『空中回廊』の発行

2011年9月 33号：企画展紹介、会員活動紹介、新館長、所蔵作品紹介、新学芸員紹介

2012年3月 34号：企画展紹介、会員活動紹介、美術館より、所蔵作品紹介

平成23年度文化芸術振興費補助金：

文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業・ミュージアム活性化支援事業

事業名：愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ～愛知県美術館鑑賞プログラムを通して」

期 間：平成23年度7月～平成24年3月

内 容：文化庁の助成を受け、次の3つの目的に基づき、事業を実施した。

- ・学校関係者への鑑賞教育の啓発と普及
- ・教員・学生を対象とした鑑賞教育に関わる人材育成
- ・鑑賞法と鑑賞補助ツールの普及

主 催：愛知県鑑賞学習普及事業実行委員会

協 力：愛知県美術館鑑賞学習ワーキンググループ教員有志
愛知教育大学、愛知県立芸術大学、名古屋大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学

(1)記念講演会

実施日：平成23年10月1日（土）

場所：愛知芸術文化センター アートスペースA

講師：愛知教育大学特別教授 藤江充

演目：美術をめぐる鑑賞教育と鑑賞学習

参加人数：52名（県内小・中・高教員）

(2)夏休み子ども鑑賞会

実施日・対象・参加者数

8月20日(土) 午前 小学1～2年生 3名

8月21日(日) 午後 中学生 31名

8月23日(火) 午前 小学3～4年生 8名

午後 小学5～6年生 13名

実施内容：愛知県美術館のコレクションを、教員と学生、学芸員がグループを組み、試作したツールを用いて、子どもたちに楽しく作品を鑑賞させた。

実施担当数：教員18名 学生13名 学芸員2名

(3)鑑賞学習補助ツール「あいバック」作成・配布

作成内容：愛知県美術館鑑賞学習補助ツール「あいバック」・
ポスター2種、アートカード40種（3セット）、
CD-ROM（鑑賞学習指導例・ワークシート・
アートゲーム・作家作品情報・教師用指導書）
1枚、あいバックガイド
・素材ボックス（彫刻作品の素材ボックス）
〔愛知県美術館保管3箱〕

内容：愛知県美術館のコレクションから40作品を選定し、学校現場で鑑賞学習に取り組める教材を開発し、県内小中学校に配布した。

(4)報告書作成

内容：愛知県美術館鑑賞学習普及事業の実施報告

所蔵作品に関すること

○鯨井秀伸

- ・『MKM32 (メイキング・オブ・クマガイ モリカズ)』(編集) 2011年 9 月
- ・「線・形・色」『MKM32 (メイキング・オブ・クマガイ モリカズ)』2011年 9 月
- ・『木村定三コレクション作品目録 I』(編集) 2012年 3 月
- ・「分野別概要」『木村定三コレクション作品目録 I』2012年 3 月
- ・『木村定三コレクション研究紀要 2011年度版』(編集) 2012年 3 月
- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 平福百穂《秋風吟》」2012年 3 月
- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 森田恒友《大利根の河原》」2012年 3 月
- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 日高昌克《磯》」2012年 3 月
- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 長谷川利行《伊豆大島》」2012年 3 月
- ・鑑賞カード「(一般向け) 岸田劉生《鵠沼小景》」2012年 3 月

○長屋菜津子

- ・『木村定三コレクション研究報告書 3』(編集) 2012年 3 月
- ・「《M1027》が《高麗鉄地金銀象嵌鏡架》に至るまで」『木村定三コレクション研究報告書 3』2012年 3 月
- ・『木村定三コレクション コレクションを守り伝える美術館』ビデオ製作 2012年 3 月
- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 《陵王面》」2012年 3 月
- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 上杉謙信《織田信長宛上杉謙信書状》」2012年 3 月
- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 村上華岳《青柿》」2012年 3 月
- ・鑑賞カード「(一般向け) 杉本健吉《吉川英治原作『新・平家物語』新装本 挿絵》」2012年 3 月

○藤島美菜

- ・「鑑賞学習指導例」「ワークシート」「アートゲーム」「教師用指導書」「作家・作品解説」「素材ボックス」愛知県美術館 鑑賞学習補助ツール「あいパック」(編集・制作)(文化庁 平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業) 2012年 3 月
- ・ワークシート「(小学校低学年～中学年向け) パウル・クレー《女の館》」

「教師用指導書」(40作品)「作家作品解説」(40作品)

愛知県美術館 鑑賞学習補助ツール「あいパック」(文化庁 平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業) 2012年3月

○森 美樹

- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 香月泰男《巴里風景》、南桂子《2羽の鳥》」2012年 3 月
- ・鑑賞カード「(一般向け) ジョルジュ・ミンヌ《聖遺物箱を担ぐ少年》 エルンスト・バルラッハ《忘我》」2012年 3 月

○中村史子

- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 英一蝶《王子喬図》」2012年 3 月
- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 土田麦遷《揚巻》」2012年 3 月
- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 竹内栖鳳《春暖》」2012年 3 月
- ・所蔵作品鑑賞カード「(一般向け) 舟越桂《肩で眠る月》」2012年 3 月
- ・所蔵作品鑑賞カード「(一般向け) 三沢厚彦《Animal 2008-01》」2012年 3 月

○塩津青夏

- ・「島田章三《石庭女人図》」『空中回廊』第33号 2011年 9 月

○平井啓修

- ・「山本梅逸と青木蒲堂 木村定三コレクション」パンフレット 2011年 3 月
- ・「扇面画 木村定三コレクション」リーフレット 2011年 3 月
- ・「田中訥言 木村定三コレクション」リーフレット 2011年 3 月
- ・「《金銅五鈇三昧耶鈴》鎌倉時代中期(13世紀)」『毎日新聞』(中部版) 2011年 5 月28日朝刊
- ・「《溪流・鶴図炉屏》」『毎日新聞』(中部版) 2011年 8 月 6 日朝刊
- ・「熊谷守一《雨滴》」『毎日新聞』(中部版) 2011年10月22日朝刊
- ・「前田青邨《江島詣》」『毎日新聞』(中部版) 2012年 1 月 14日朝刊
- ・「佐分真《裸婦》」『毎日新聞』(中部版) 2012年 3 月17日朝刊
- ・「美術館の1枚 ジョージア・オキーフ《抽象 第6番》」

『日経おとなのOFF』2011年10月号 2011年9月

- ・木村定三コレクション鑑賞カード「(一般向け) 青木蒲堂《養老山真景図》、田中訥言《雪月花図》、村瀬太乙《馬上狐図》、鈴木其一《林檎図》」 2012年3月
- ・鑑賞カード「(一般向け) 鬚嘸《自顔像》」 2012年3月

○中西園子

- ・「パウル・クレー 《女の館》」『空中回廊』34号 2012年3月

展覧会等に関すること

○高橋秀治

- ・(企画展)「島田章三〈かたちびと〉へのあゆみ」『島田章三展』2011年9月

○古田浩俊

- ・(所蔵作品展)「うつし、うつくし」展 企画コンセプト

○深山孝彰

- ・(企画展)「麻生三郎展鑑賞ガイド」2011年4月
- ・(企画展)「麻生三郎の戦後作品 ―《赤い空》、そして人間像の解体と再生―」『視る』(京都国立近代美術館ニュース)452号 2011年5月
- ・(企画展)「うつし、うつくし展 "うつし"が創造になるとき。」『AAC』71号 2012年2月
- ・(企画展)「うつし、うつくし」展解説パネル(章解説7、作品解説15)

○大島徹也

- ・(企画展)「形式のポリフォニー―ジャクソン・ポロックのボード絵画」、「ジャクソン・ポロックと具体美術協会」、「ポロックの言葉」(翻訳)、章解説、作品解説、個展歴『生誕100年ジャクソン・ポロック展』図録 2011年11月
- ・(企画展)「アートを変えた男―生誕100年 ジャクソン・ポロック展」『AAC』69号 2011年7月
- ・(企画展)「ジャクソン・ポロック―ピカソを超えて」『AAC』70号 2011年9月
- ・(企画展)「伝説の芸術家 日本初の回顧展」『読売新聞』2011年11月10日朝刊(2012年2月9日朝刊再掲載)
- ・(企画展)「ポロックの見方教えます」『芸術新潮』63巻3号 2012年3月
- ・(企画展)「『誕生』 1941年頃 テート」『読売新聞』2011年11月15日朝刊
- ・(企画展)「『無題』 1950年 シュツットガルト州立美術館」『読売新聞』2011年11月29日朝刊

○森 美樹

- ・(企画展)作品解説「星座の花嫁板画集」『朝日新聞』2011年8月22日(夕刊)
- ・(企画展)作品解説「花矢の柵」『朝日新聞』2011年8月30日(夕刊)
- ・(企画展)作品解説「飛神の柵」『朝日新聞』2011年9月1日(夕刊)

○中村史子

- ・(テーマ展)「イメージと空間の編集」『水野勝規 lightscape』パンフレット(編集・執筆)

○平井啓修

- ・(企画展)「棟方志功 祈りと旅展《宇宙頌》」『朝日新聞』2011年8月23日朝刊
- ・(企画展)「棟方志功 祈りと旅展《ホイットマン詩集抜粋の柵》」『朝日新聞』2011年8月29日朝刊
- ・(企画展)「棟方志功 祈りと旅展《歓喜自板像》」『朝日新聞』2011年8月31日朝刊
- ・(企画展)「棟方志功 祈りと旅展《胡須母寿花頌》」『朝日新聞』2011年9月2日朝刊

○副田一穂

- ・(企画展)「作品解説」『生誕100年 ジャクソン・ポロック展』2011年11月
- ・(企画展)「棟方志功 祈りと旅展《不來方板画柵 雨ニモ負ケズの柵》」『朝日新聞』2011年8月24日夕刊
- ・(企画展)「棟方志功 祈りと旅展《柳緑花紅頌 鯉顔の柵》」『朝日新聞』2011年8月25日夕刊
- ・(企画展)「棟方志功 祈りと旅展《鍵板画柵 大首の柵》」『朝日新聞』2011年8月26日夕刊
- ・(企画展)「『ブルー―白鯨』1943年頃 大原美術館」『読売新聞』2011年11月2日

○塩津青夏

- ・(企画展)「島田章三展」『AAC』第69号 2011年7月
- ・(企画展)「愛知の島田章三」『島田章三展』2011年9月
- ・(企画展)「島田章三展(上)『炎』」『中日新聞』2011年9月21日
- ・(企画展)「島田章三展(下)『東北に捧げる十字花』」『中日新聞』2011年9月23日
- ・(企画展)作品解説『生誕100年 ジャクソン・ポロック展』2011年11月
- ・(企画展)「『西へ』 1934―35年 スミソニアン・アメリカ美術館」『読売新聞』2011年1月17日

- ・(企画展)「『トーテム・ペンシル』 1939-42年頃 ポロック＝クラズナーハウス・アンド・スタディセンター」『読売新聞』2011年11月24日

○中西園子

- ・(企画展) 巻頭論文翻訳、「年譜」、「個展歴」、「主要参考文献」『生誕100年 ジャクソン・ポロック展』図録 2011年11月。
- ・(企画展)「『無題』 1938-41年頃 ポロック＝クラズナー財団」『読売新聞』2011年11月9日朝刊、「『トーテム・レックス2』 1945年 オーストラリア国立美術館」『読売新聞』2011年11月25日朝刊、「『ナンバー7, 1950』 1950年 ニューヨーク近代美術館」『読売新聞』2011年11月30日朝刊、「ポロックが自宅に飾っていた壊れたイカリ ポロック＝クラズナーハウス・アンド・スタディセンター」『読売新聞』2011年12月2日朝刊。
- ・(企画展)「日本初の回顧展という役割」『現代の眼』592号、2012年2月。

教育普及活動に関すること

○藤島美菜

- ・文化庁 平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業
愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ～愛知県美術館プログラムを通して（研究事業）2011年7月～2012年3月
- ・報告書（編集・制作）『愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ～愛知県美術館プログラムを通して」』（文化庁 平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）2012年3月

○塩津青夏

- ・「愛知県美術館の鑑賞プログラムー学校教員との連携を通じて」（発表）「愛知県博物館協会 部門別研修会（教育普及部門）」2012年2月14日

作品の保存等に関すること

○村田真宏

- ・「ある公立美術館で"IPM"が普通のことになるまで」「ミュージアムIPM支援者育成プログラム策定のための協力者会議」（平成23年度文化庁文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業「市民と共に目指すミュージアムIPM」研究代表者：九州国立博物館館長 三輪嘉六）の公開シンポジウム 特別講演 2012年1月

○長屋菜津子

- ・文化庁平成23年度「ミュージアムIPM支援者育成プログラム策定のための協力者会議」（平成23年度文化庁文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業「市民と共に目指すミュージアムIPM」）（研究事業）2011年7月～2012年3月

その他

○深山孝彰

- ・「展覧会のできるまで」（講演）文化情報センターゼミナール「はじめてアート講座2011」第2回 アートスペースA 2011年6月3日
- ・「遙かな時間と今この一刻（ひととき）」『坂本太郎展 刻々Ⅲ』E&Cギャラリー（福井） 2011年9月

○大島徹也

- ・「動きだした文化財レスキュー」『中日新聞』 2011年5月20日夕刊
- ・「戦後アメリカ美術における『抽象と形態』ージャクソン・ポロック、抽象表現主義、カラーフィールド・ペインティングをめぐる」 2012年3月18日 DIC川村記念美術館
- ・「佐藤香菜展『サンクチュアリ』」『REAR』27号 2012年3月

○中村史子

- ・「写真を／写真から掘り起こす」『REAR』26号 2011年6月

○副田一穂

- ・「イコノフォビアー図像の魅惑と恐怖ー」（展評）『REAR』27号 2012年3月

○塩津青夏

- ・「アメリカ抽象絵画の巨匠 バーネット・ニューマン展」『REAR』第26号 2011年8月
- ・「バーネット・ニューマンー形成期の作品に関して」『愛知県美術館 研究紀要』第18号 2012年3月

ギャラリー（貸館）

2011（平成23）年美術館ギャラリー利用状況

1 展示室利用状況

（単位：日数）

区分 月別	日 利用 可能 数 a	利用 日数 b	利用 率 b / a	展 示 室 別 利 用 日 数												審査保管室	
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J			第 1	第 2
1	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	20	7
2	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	22	9
3	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	11	16
4	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	18	21
5	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	8	18
6	22	22	100.0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	3	18
7	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	10	8
8	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	16	31
9	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	15	19
10	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	24	15
11	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	10	21
12	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	9	7
計	300	300	100.0													166	190

2 展覧会種別利用状況及び入場者数

区分 月別	展 覧 会 種 別 利 用 件 数 （件）									入 場 者 数 （人）
	総 合 展	絵 画 展	彫 刻 展	工 芸 展	書 道 展	デ ザ イ ン 展	写 真 展	版 画 展	計	
23年 1 月	4	1	0	0	2	1	0	0	8	38,494
2 月	2	3	0	1	0	0	0	0	6	84,567
3 月	4	3	0	0	7	1	1	0	16	35,264
4 月	3	7	1	1	4	0	0	0	16	31,721
5 月	5	4	1	0	4	0	0	0	14	36,790
6 月	8	6	0	2	1	0	1	0	18	34,660
7 月	6	5	1	2	4	0	4	0	22	47,887
8 月	10	3	0	0	3	0	0	0	16	33,393
9 月	5	4	0	0	4	0	1	0	14	31,057
10 月	4	3	0	0	5	1	0	0	13	30,499
11 月	10	5	0	2	3	0	0	0	20	34,610
12 月	3	5	1	0	4	3	2	0	18	36,567
計	64	49	4	8	41	6	9	0	181	479,600

（注）利用件数は、展覧会の初日が属する月で整理し、入場者数は、当該月で整理している。

平成23年上半期展示室利用スケジュール

[illegible]

平成23年下半期展示室利用スケジュール

[illegible]

東日本大震災の救援活動

文化財レスキューへの参加

1. 学芸員の派遣（延べ30日間4名）

文化庁が実施する「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）」に基づく学芸員等の派遣要請に応じて、愛知県美術館の学芸員を派遣した。

- ・大島 徹也：4月26日～5月3日
石巻文化センター所蔵作品の被災美術品運び出し作業
- ・長屋菜津子：5月12日～5月17日
石巻文化センター所蔵作品の被災美術品の応急処置と保管場所の環境整備
- ・長屋菜津子：6月14日～6月16日
石巻文化センター所蔵作品の保管場所の環境整備
- ・塩津 青夏：7月11日～7月15日
陸前高田市立博物館所蔵被災美術品の運び出し作業
- ・副田 一穂：8月21日～8月28日
陸前高田市立博物館所蔵被災美術品の応急処置作業現場でのサポート

2. レスキューの現場への備品、資材の貸出

（除湿機、他を貸出した。）

3. 企業協賛の依頼（備品、資材の運搬などを依頼した。）

4. 友の会への協賛依頼（現場で必要となる作品用小布団等の製作を依頼し備品とともに送付した）

義援金の募金活動

1. カンディンスキー展

（ロビーにおける一般復興支援のための募金活動）

2. 第1期所蔵作品展（同時開催、麻生三郎展）「祈りと鎮魂」の部屋における募金活動

文化財救援活動資金として全国美術館会議へ

名 義：愛知県美術館来館者一同

3. 棟方志功展

チャリティーグッズの販売と収益の一部

①一般復興 ……朝日新聞厚生文化事業部

②文化財救援活動 ……全国美術館会議

津軽三味線チャリティーライブにおける募金

4. 島田章三展におけるチャリティーオークションへの協力

（展覧会会期中に作家本人が《東北に捧げる十字花》を入札にかけ、代金を寄付）

（一般復興支援寄付）

5. 職員募金

日本博物館協会「被災博物館への義援金」

その他

1. 全国美術館会議東海ブロック幹事館としての活動

2011年3月11日 東日本大震災発生

3月14日 東海ブロック加盟館（39館）に被害状況照会

3月15日 静岡直下型地震発生

3月18日 静岡県加盟館（17館）に被害状況照会

3月25日 集計、全国美術館会議連絡本部と加盟館に報告文送付

8月1日 駿河湾沖地震発生

8月2日 震度5以上の7館に被害状況照会

2012年3月11日 東海ブロック災害時の情報網訓練の実施

2. 被災館への援助

①海外展が開催できなくなった美術館への支援

（島根県美術館「ふらんす物語」展等）

②（今後の予定）被災館での所蔵作品の展示

関係委員会名簿

愛知県美術館専門委員会委員名簿

平成24年3月31日

氏 名	所 属
油 田 弘 佑	愛知県美術館友の会会長
◎ 磯 見 輝 夫	愛知県立芸術大学長
○ 江 本 菜穂子	名古屋造形大学教授
黒 田 亮 子	美術評論家
西 原 健 二	中日新聞社事業局文化事業部長
坂 野 重 法	名古屋市立東桜小学校長
野々川 房 子	日本メナード化粧品（株）常務取締役 （メナード美術館アート・プロデューサー）
古 川 秀 昭	岐阜県美術館長
松 永 恒 裕	名古屋市美術館長
三 浦 定 俊	財団法人文化財虫害研究所理事長

◎は委員長、○は委員長代理

(50音順)

劇場・ギャラリー専門委員会（ギャラリー部会）委員名簿

氏 名	職名・団体名及び役職
阿 部 幸 則	財団法人愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
安 藤 滴 水	書家・中部日本書道会理事長
仲 野 泰 裕	愛知県陶磁資料館副館長
櫃 田 伸 也	洋画家・名古屋造形大学客員教授
◎ 松 井 和 弘	日本画家・創画会会員・名古屋造形大学客員教授
神 谷 浩	名古屋市博物館副館長
水 谷 た き	彫刻家

◎は部会長

(50音順)

愛知県美術館美術品収集委員会委員名簿

氏 名	職 名（所 属）
尾 崎 正 明	京都国立近代美術館長（日本近代美術）
◎ 黒 田 亮 子	美術評論家（西洋美術、日本近代美術）
田 中 淳	東京文化財研究所企画情報部長（日本近・現代美術）
山 梨 俊 夫	国立国際美術館長（近現代美術）
吉 田 俊 英	豊田市美術館長（日本近世・近代美術）

◎は部会長

(50音順)

愛知県美術館年報2011年度版

編集
発行

2013年3月発行
愛知県美術館
愛知県美術館
名古屋市東区東桜1-13-2
〒461-8525
Phone : 052-971-5511
Fax : 052-971-5604

表紙デザイン・本文レイアウト
印刷

松田幸司、山口浩司
栄印刷株式会社

Annual Report 2011, Aichi Prefectural Museum of Art
Edited by the Aichi Prefectural Museum of Art

Published by the Aichi Prefectural Museum of Art
1-13-2 Higashisakura, Higashiku, Nagoya 461-8525 JAPAN
Designed and layouted by Koji Matsuda and Koji Yamaguchi
Printed by Sakae Printing Co., Ltd.
©2011 Aichi Prefectural Museum of Art
Printed in Japan